■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

ハンディカムの最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

ハンディカムホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
ハンディカムの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

メモリースティック対応表
http://www.sony.co.jp/mstaiou
使用可能な"メモリースティック"を確認することができます。

付属ソフトウェア(Picture Motion Browser)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

●使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

●修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX(共通):0120-333-389
受付時間:月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心、便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cam/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in China

SONY HANDYCAM DCR-DVD810

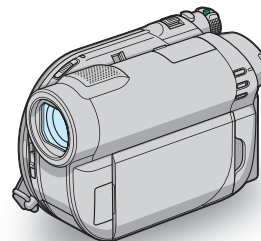
3-285-366-**01**(1)

SONY

デジタルビデオカメラレコーダー

HANDYCAM

取扱説明書

DCR-DVD810

⚠警告　**電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→120～122ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や損害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら/煙が出たら ➡

❶ 電源を切る
❷ 電池をはずす
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。

❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。

❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。

❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機には2種類の取扱説明書があります。

- 取扱説明書（本書）
- 本機で記録した画像をパソコンで扱う方法は、付属のCD-ROM収録の「PMB ガイド」をご覧ください（91ページ）。

本機で使えるディスクについて

本機で使用できるディスクは、下記のみです。

–8cm DVD-RW
–8cm DVD+RW
–8cm DVD-R
–8cm DVD+R DL

下記のマークのついたディスクをお使いください（詳しくは10ページ）。

記録/再生における信頼性、耐久性の面から、ソニー製ディスク、またはビデオカメラでの使用に適した for VIDEO CAMERA（for VIDEO CAMERA）マークの付いたディスクのご使用をおすすめします。

ご注意

- 上記以外のディスクを使用した場合は、正常な記録/再生や、ディスクの取出しができなくなる可能性があります。

本機で使える“メモリースティック”について

- 動画撮影時は、512MB以上の次のマークが付いた“メモリースティック PRO デュオ”の使用をおすすめします。
  – MEMORY STICK PRO DUO（“メモリースティック PRO デュオ”）*
  – MEMORY STICK PRO-HG DUO（“メモリースティック PRO-HG デュオ”）

* Mark2表示があるものとないもの両方使えます。

- 使用可能な“メモリースティック”の最新情報については、ホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください（裏表紙）。
- “メモリースティック PRO デュオ”1枚あたりの撮影可能時間は、29ページをご覧ください。

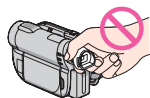
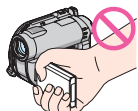
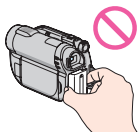
“メモリースティック PRO デュオ”/“メモリースティック PRO-HG デュオ”（本機で使用するサイズ）

“メモリースティック”（本機では使用できません）

- 本書では、“メモリースティック PRO デュオ”/“メモリースティック PRO-HG デュオ”を「“メモリースティック PRO デュオ”」と表現しています。
- 上記以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリースティック PRO デュオ”は“メモリースティック PRO”対応機器でのみ使用可能です。
- “メモリースティック PRO デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- “メモリースティック PRO デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合は、“メモリースティック PRO デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。

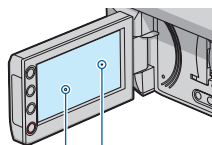
次のページへつづく➡

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。

ファインダー

液晶画面

バッテリー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(114ページ)。
- 本機の (動画)ランプ/ (静止画)ランプ(21ページ)や、ACCESSランプ(26ページ)/アクセスランプ(28ページ)が点灯中に次のことをすると、メディアが壊れたり、記録した映像が失われる場合があります。
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす
  - 本機に衝撃や振動を与える
  - 本機から"メモリースティック PRO デュオ"を取り出す
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目などは、その撮影/再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。内蔵メモリーへの録画/録音をおすすめします。
- 万一、ビデオカメラレコーダーやメディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 長期間、画像の撮影/消去を繰り返していると、本機の内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録/保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存(49、57ページ)したあと、[メディア初期化](67ページ)を行ってください。

本機の廃棄/譲渡に関するご注意

本機で内蔵メモリーの初期化(67ページ)を行っても、内蔵メモリー内のデータは完全に消去されないことがあります。本機を譲渡するときは、[データ消去](71ページ)を行って、内蔵メモリーのデータの復元を困難にすることをおすすめします。本機を廃棄するときは、本機を物理的に破壊することをおすすめします。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

カールツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイス レンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスとソニーで共同開発した、MTF*測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツァイス レンズとしての品質を維持しています。

モジュレーション トランスファー ファンクション
* Modulation Transfer Functionの略。コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値です。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は実際に見えるものと異なります。
- 本書では8cm DVDを「ディスク」と表現しています。
- 本書では、内蔵メモリー、ディスク、“メモリースティック PRO デュオ”を「メディア」と表現しています。
- メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

本書で使うマークについて

お使いになるメディアの種類によっては、できない操作があります。その場合には、対応しているメディアを本機で表示される下記のようなマークで記載します。

内蔵メモリー

ディスク

“メモリースティック PRO デュオ”

目次

本機の設定を変える

パソコンを活用して楽しむ

困ったときは

その他

安全のために 120

各部のなまえ・用語集・索引

「やりたいこと」から探す目次

花をアップでくっきり撮りたい

ステージ上の子供の顔がライトで白くなってしまう

画面左の犬にピントを合わせたい

花火をきれいに撮りたい

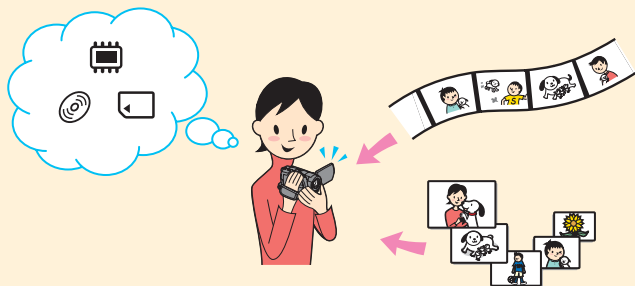
ゲレンデや浜辺できれいに撮りたい

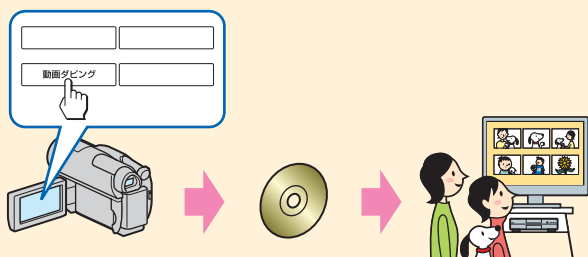
暗い部屋で子供の寝顔をきれいに撮りたい

ゴルフのスイングをチェックしたい

いろいろな「メディア」を便利に使おう

メディアを選ぶ

本機では、内蔵メモリー、ディスク、"メモリースティック PRO デュオ"からお好みのメディアを選んで記録/再生/編集することができます。
動画のメディアは[動画メディア設定]で、静止画のメディアは[静止画メディア設定]であらかじめ設定してください(25ページ)。

本機のメディア間でダビングする

本機の[動画ダビング]を使うと、内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"に記録した動画を、他の機器を使用しないでディスクにダビングできます(49ページ)。

メディアの特徴

本機では、内蔵メモリー、直径8cmのDVD-RW、DVD+RW、DVD-R、DVD+R DL、“メモリースティック PRO デュオ”に画像を記録できます。使用できる“メモリースティック”については3ページをご覧ください。

DVD-RWの記録フォーマット

DVD-RWは、VIDEOモードとVRモードの2つの記録フォーマットが選べます。

本書では、VIDEOモードは -RW VIDEO で、VRモードは -RW VR で表しています。

	他のDVD機器との再生互換に優れた記録フォーマットです。ファイナライズをすれば、ほとんどのDVD機器で再生できます。 **VIDEOモードでは直前に撮影した動画以外は削除できません。**
	本機での編集（画像の削除や並び替え）を可能にする記録フォーマットです。 ファイナライズをすれば、VRモードに対応したDVD機器で再生できます。 再生機器がVRモードに対応しているかどうかはお使いの機器の取扱説明書でご確認ください。

VIDEOモード、VRモード☞用語集（129ページ）へ

ディスクの特徴

（　）は参照ページ

ディスクの種類とマーク	DVD-RW		DVD+RW	DVD-R	DVD+R DL
	DVD RW		RW DVD+ReWritable	DVD R	RW DVD+R DL
本書で使用しているマーク	-RW VIDEO	-RW VR	+RW	-R	+R(DL)
ワイド（16:9）と4:3の動画を同じディスクに撮影できる（26）	●	●	—	●	●
撮影直後の画像を削除できる（47）	●	●	●	—	—
本機で画像の削除や編集ができる（46）	—	●	—	—	—
容量がいっぱいになっても初期化*して繰り返し使用できる（67）	●	●	●	—	—
ファイナライズして他の機器で再生できる（62）	●	●	—**	●	●
1枚のディスクの片面に長時間記録できる	—	—	—	—	●

* 初期化とは、撮影したすべての画像を一括削除し、記録容量を元に戻すことです（67ページ）。新しいディスクを使用する場合も本機で初期化を行います（26ページ）。

** ファイナライズしていないDVD+RWは、パソコンのDVDドライブでは再生しないでください。故障の原因になります。

動画の撮影可能時間

内蔵メモリーと、ディスクの片面あたりの録画時間の目安
メディアの種類、[録画モード]（75ページ）の設定によって撮影可能時間は異なります。

（　）内は最低録画時間

メディアの種類	（内蔵メモリー）	−RW +RW −R	+R(DL)
9M（HQ）（高画質）	約115（100）分	約20（18）分	約35（32）分
6M（SP）（標準画質）	約170（100）分	約30（18）分	約55（32）分
3M（LP）（長時間）	約325（215）分	約60（44）分	約110（80）分

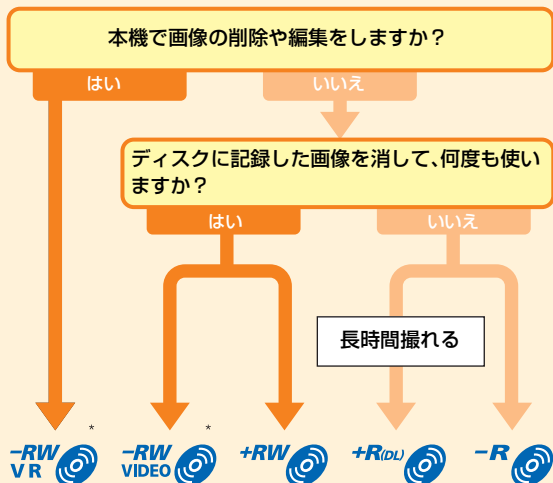
ちょっと一言

- 表の9M、6Mなどの数値は、平均ビットレートです。「M」は「Mbps」のことです。
- 撮影可能時間は、[メディア情報]（66ページ）で確認できます。
- 両面ディスクを使うと表面と裏面の両方に記録できます（110ページ）
- “メモリースティック PRO デュオ”の動画撮影可能時間については、29ページをご覧ください。

本機は、撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、メディアへの録画時間は変動します。
動きの速い映像はメディアの容量を多く使い鮮明な画像を記録するので、録画時間は短くなります。

使いかたの流れ

①メディアを設定する（25ページ）

動画/静止画ごとにメディアを設定します。ディスクの場合は、目的に合わせて種類を選びます。

* 本機で記録フォーマットを選んで初期化します（26ページ）。

ちょっと一言

- ［ディスク選択ガイド］を使って選ぶこともできます（70ページ）。

②撮影する（33ページ）

③撮影した画像を編集する/保存する

設定したメディアによってできることが異なります。

- ■ **本機のメディア間でダビング/コピーする（49ページ）。**
- ■ **他の機器にダビングする（57ページ）。**
- ■ **パソコンで編集する（91ページ）。**

同梱のソフトウェア「Picture Motion Browser」を使って、画像をパソコンに取り込んだり、ディスクに保存したりできます。

④他の機器で見る

■ **テレビにつないで見る（43ページ）。**

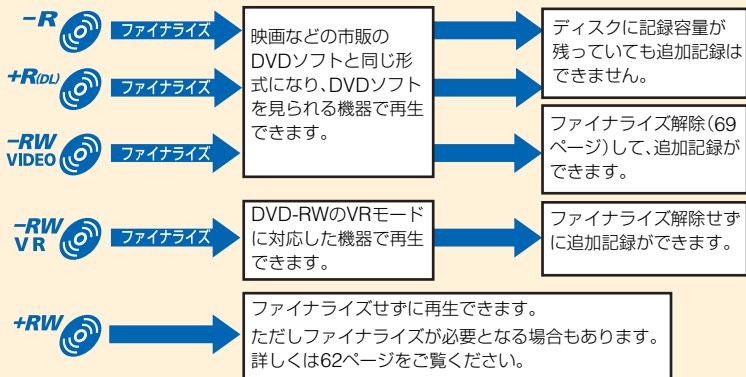
本機で撮影、編集した画像をテレビにつないで見られます。

■ **ディスクを他機で見る（62ページ）。**

本機で撮影したディスクを他機で見るためには、ファイナライズ（互換処理）が必要です。

ご注意

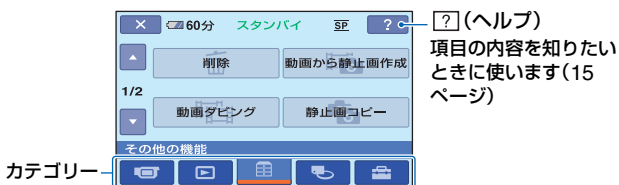
- ディスクの記録容量が少ないほどファイナライズに時間がかかります。

ディスクの種類によってファイナライズに関する特徴が異なります。

再生の互換性について

すべての機器での再生を保証するものではありません。再生機器との互換性は、お使いの機器の取扱説明書でご確認いただくか、お買い上げ店へお問い合わせください。
ソニー製品との互換性は、下記のホームページでご確認ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdguide/

「ホーム」と「オプション」

ー2種類のメニューで本機を使いこなす！

「ホームメニュー」は、操作の出発点

▶ホームメニューのカテゴリーと項目

(撮影)カテゴリー

項目	ページ
動画*	34
静止画*	34

(画像再生)カテゴリー

項目	ページ
V.インデックス*	39
インデックス*	40
インデックス*	40
プレイリスト	54

(その他の機能)カテゴリー

項目	ページ
削除**	46
動画から静止画作成	48
動画ダビング	49
静止画コピー	51
編集	52
プレイリスト編集	53
印刷	59
USB接続	91

(メディア管理)カテゴリー

項目	ページ
動画メディア設定*	25
静止画メディア設定*	25
ファイナライズ*	62
メディア情報	66
メディア初期化*	67
ファイナライズ解除	69
ディスク選択ガイド	70
管理ファイル修復	70

(設定)カテゴリー*

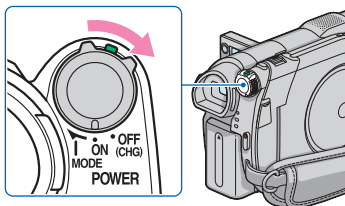
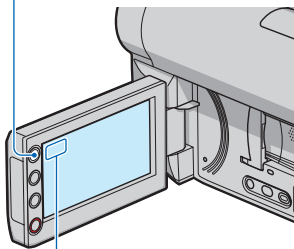
お買い上げ時の設定の変更など、さまざまな設定ができます(73ページ)。

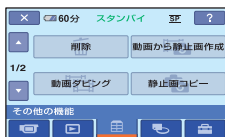
* かんたん操作(30ページ)中も設定できます。
(設定)カテゴリーで使える項目について詳しくは、74ページをご覧ください。

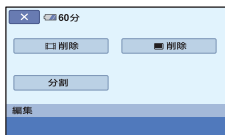
** [動画メディア設定]を[内蔵メモリー]、または[メモリースティック]に設定した場合(25ページ)、かんたん操作(30ページ)中も設定できます。

ホームメニューの使いかた

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをずらして、本機の電源を入れる。

2 (ホーム)ボタンA(またはB)を押す。

3 希望のカテゴリーをタッチする。

例)(その他の機能)カテゴリーのとき

4 希望の項目をタッチする。

例)[編集]のとき

5 本機の表示にしたがって操作する。

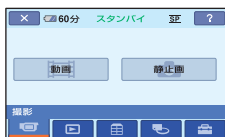
ホームメニュー画面を消すには

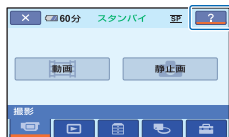
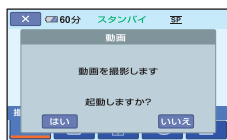
[×]マークをタッチする。

▶ホームメニューの説明を見る(ヘルプ)

1 (ホーム)ボタンを押す。

ホームメニューが表示されます。

次のページへつづく➡

2 ?（ヘルプ）ボタンをタッチする。

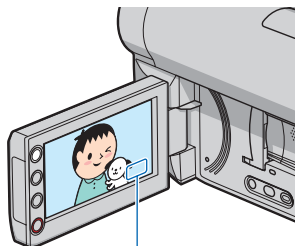
?（ヘルプ）ボタンの下辺がオレンジ色に変わります。

3 内容を知りたい項目をタッチする。

タッチした項目の内容が表示されます。

その項目を実行するには［はい］、実行しないときには［いいえ］をタッチする。

ヘルプを解除するには

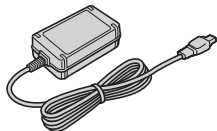
手順**2**でもう一度?（ヘルプ）ボタンをタッチする。

オプションメニューを使う

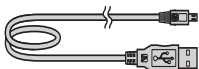
撮影、再生中など、その状況で使える機能を表示して、気軽に設定できます。オプションメニューを使うには、84ページをご覧ください。

（オプション）ボタン

準備1：付属品を確かめる

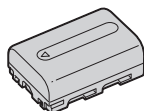
箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内は個数。

ACアダプター(1)(18ページ)

電源コード(1)(18ページ)

A/V接続ケーブル(1)(43、57ページ)

USBケーブル(1)(59ページ)

ワイヤレスリモコン(1)(126ページ)

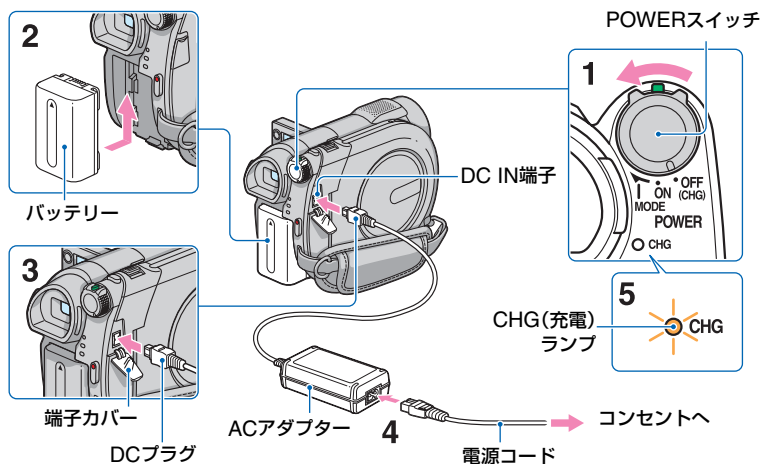
ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

リチャージャブルバッテリーパック
NP-FH40(1)(18ページ)

CD-ROM「Handycam Application Software」(1)(91ページ)

– 「Picture Motion Browser」(ソフトウェア)
– 「PMB ガイド」

取扱説明書 ＜本書＞ (1)

保証書 (1)

準備2:バッテリーを充電する

専用の"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)(113ページ)を本機に取り付けて充電します。

ご注意

- "インフォリチウム"バッテリーHシリーズ以外は使えません。

1 POWERスイッチを「OFF(CHG)」(お買い上げ時の設定)にする。

2 バッテリーを「カチッ」というまで矢印の方向にずらして取り付ける。

3 ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子につなぐ。

端子カバーを開け、ACアダプターのDCプラグをつなぐ。本機とDCプラグの▲マークを合わせる。

4 電源コードをACアダプターとコンセントにつなぐ。

CHG(充電)ランプが点灯し、充電が始まります。

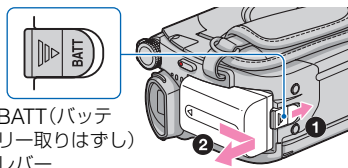
5 CHG(充電)ランプが消え、充電が終わったら(満充電)、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜く。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、本機とDCプラグを持って抜いてください。

バッテリーを取りはずすには

① POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする。

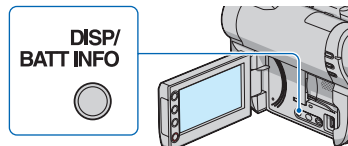
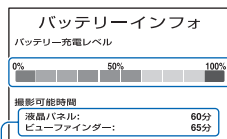
② BATT(バッテリー取りはずし)レバーをずらしながら(❶)、バッテリーを矢印の方向へ取りはずす(❷)。

ご注意

- バッテリーやACアダプターは、本機の (動画)ランプ/ (静止画)ランプ(21ページ)/ACCESSランプ(26ページ)/アクセスランプ(28ページ)が点灯していないことを確認してから取りはずしてください。
- 長い時間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください(113ページ)。

コンセントからの電源で使うには

充電するときと同じ接続で使う。
バッテリーを取り付けたままでもバッテリーは消耗しません。

バッテリーの残量を確認するには

POWERスイッチを「OFF(CHG)」にしたあと、DISP/BATT INFOボタンを押す。

しばらくすると、バッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間にボタンを押すと、20秒まで表示を延長できます。

充電時間(満充電)

使い切った状態からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	満充電時間
NP-FH40(付属)	125
NP-FH50	135
NP-FH70	170
NP-FH100	390

撮影可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

メディアを内蔵メモリー/"メモリースティック PRO デュオ"に設定したとき:

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FH40(付属)	95 110	45 50
NP-FH50	110 130	50 60
NP-FH70	235 280	110 130
NP-FH100	535 625	255 300

準備する

次のページへつづく➡

メディアをディスクに設定したとき:

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-FH40(付属)	80 95	35 40
NP-FH50	95 110	40 45
NP-FH70	205 235	90 105
NP-FH100	470 535	210 240

* 実撮影時とは、録画スタンバイ、POWERスイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

ご注意

- メディアの設定については、25ページをご覧ください。
- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
  – 録画モード:「SP」
  – 上段:液晶画面バックライトが「入」のとき
    下段:液晶画面を閉じてファインダーを使用するとき

再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

メディアを内蔵メモリー/“メモリースティック PRO デュオ”に設定したとき:

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FH40(付属)	140	170
NP-FH50	165	195
NP-FH70	350	415
NP-FH100	785	925

メディアをディスクに設定したとき:

バッテリー型名	液晶画面で再生*	液晶画面を閉じて再生
NP-FH40(付属)	115	135
NP-FH50	135	155
NP-FH70	290	330
NP-FH100	650	745

* 液晶画面バックライトが「入」のとき

ご注意

- メディアの設定については、25ページをご覧ください。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にして (動画)ランプ/ (静止画)ランプ(21ページ)/ACCESSランプ(26ページ)/アクセスランプ(28ページ)が消えてから行ってください。
- 次のとき、充電中にCHG(充電)ランプが点滅したり、バッテリーインフォ(19ページ)が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが劣化しているとき
    (バッテリーインフォ表示のみ)
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながれている限り、バッテリーからは電源供給されません。
- ビデオライト(別売り)を取り付けたときは、バッテリーパックNP-FH70/NP-FH100でのご使用をおすすめします。
- NP-FH30は撮影/再生可能な時間が短いため、本機での使用はおすすめできません。

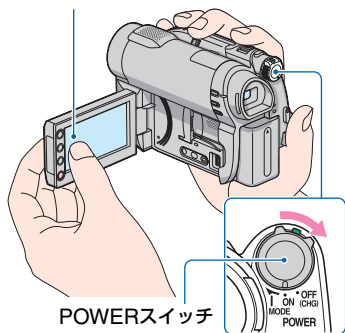
充電/撮影/再生可能時間について

- 25℃（10〜30℃が推奨）で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間が短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備3：電源を入れて日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、POWERスイッチを切り換えるたびに［日時あわせ］が表示されます。

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを矢印の方向に繰り返しずらして、使用するモードのランプを点灯させる。

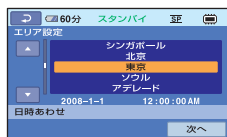
（動画）：動画を撮影するとき

（静止画）：静止画を撮影するとき

初めて電源を入れたときは、手順**3**に進む。

2 （ホーム）→（設定）→［時計設定］→［日時あわせ］をタッチする。

［日時あわせ］画面が表示されます。

次のページへつづく➡

3 ▲/▼でエリアを選び、[次へ]をタッチする。

4 サマータイムを設定し、[次へ]をタッチする。

日本国内で使用するときは[切]を選ぶ。

5 ▲/▼で[年]をあわせる。

6 ◀/▶で[月]に移動し、▲/▼であわせる。

7 同様に[日]、時、分をあわせ、[次へ]をタッチする。

8 設定された日付時刻を確認し、OKをタッチする。

設定した日時から時計が動き始めます。
2037年まで設定できます。
真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

電源を切るには

POWERスイッチを「OFF（CHG）」にする。

ご注意

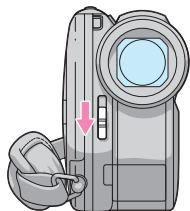
- 3か月近く使わないでおくと、内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。内蔵の充電式電池を充電してから設定し直してください（116ページ）。
- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかります。その間、本機の操作はできません。
- お買い上げ時は、電源を入れて何もしない状態が約5分続くと、バッテリー消耗防止のため、自動的に電源が切れます（[自動電源オフ]、83ページ）。

ちょっと一言

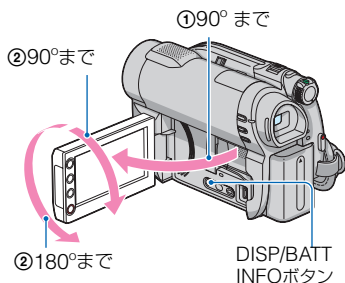
- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にメディアに記録され、再生時に表示させることができます（[日時/データ表示]、79ページ）。
- 世界時刻表は108ページをご覧ください。
- サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- 反応するボタンがずれていると感じるときは、タッチパネルの調節（キャリブレーション）をしてください（114ページ）。

準備4：撮影前の調節をする

レンズカバーを開く

LENS COVERスイッチを「OPEN」側にスライドさせる。

撮影終了後は、LENS COVERスイッチを「CLOSE」側にスライドさせる。

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を90°まで開き（①）、見やすい角度に調節する（②）。

液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

DISP/BATT INFOボタンを が表示されるまで数秒間押したままにする。
明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像に影響ありません。

解除するには、 が消えるまでDISP/BATT INFOボタンを押したままにします。

ご注意

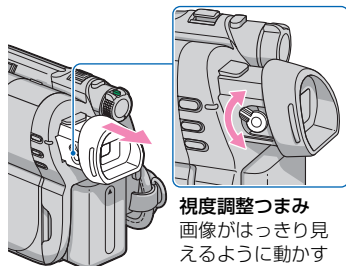
- 液晶画面を開閉するときや、角度を調節するときに、液晶画面横のボタンを誤って押さないようにご注意ください。

ちょっと一言

- 液晶画面を180°回転させたまま、外側に向けて本体に収められます。本機で画像を再生するときに便利です。
- 液晶画面の明るさは、 （ホーム）→ （設定）→［音/画面設定］→［パネル明るさ］（81ページ）で調節できます。
- DISP/BATT INFOボタンを押すたびに、バッテリー残量などの情報が表示←→非表示と切り換わります。

ファインダーを見やすく調節する

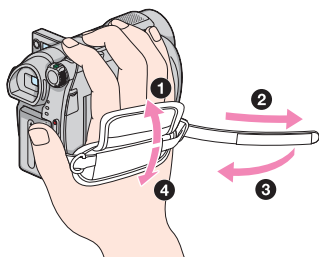
バッテリー切れが心配なときや、液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。
ファインダーを引き出してから、目を当てて画像を見ます。ご自分の視力に合わせて、視度を調節してください。

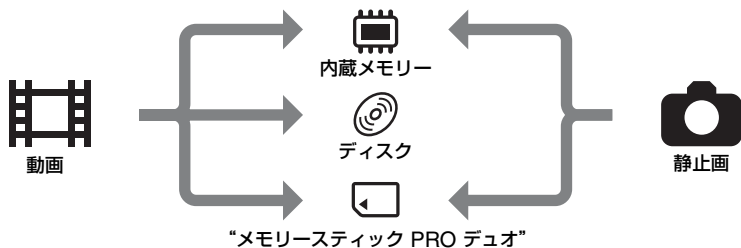
ファインダー

視度調整つまみ
画像がはっきり見えるように動かす

ちょっと一言

- ファインダーのバックライトの明るさは、（ホーム）→（設定）→[音/画面設定]→[VFバックライト]で設定できます（81ページ）。

グリップベルトを調整する

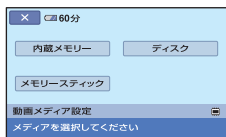
グリップベルトを図の順番にしっかりと締め、正しく構えます。

準備5：メディアを設定する

本機では、記録/再生/編集するメディアを動画、静止画ごとに設定できます。
動画用のメディアは内蔵メモリー、ディスク、"メモリースティック PRO デュオ"、静止画用のメディアは内蔵メモリー、"メモリースティック PRO デュオ"に設定できます。
お買い上げ時は、動画、静止画ともに内蔵メモリーに設定されています。

ご注意

- 設定したメディアで画像を記録/再生/編集できるようになります。別のメディアで記録/再生/編集する場合は、メディアを設定し直してください。

動画用のメディアを設定する

1 (ホーム)→(メディア管理)→[動画メディア設定]をタッチする。

動画メディアの設定画面が表示されます。

2 希望のメディアをタッチする。

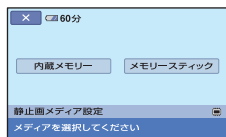
3 [はい]をタッチする。

4 [完了しました]と表示されたら、OK をタッチする。

動画用のメディアが切り換わります。

静止画用のメディアを設定する

1 (ホーム)→(メディア管理)→[静止画メディア設定]をタッチする。

静止画メディアの設定画面が表示されます。

2 希望のメディアをタッチする。

ご注意

- ディスクは静止画用のメディアに設定できません。

次のページへつづく→

3 [はい]をタッチする。

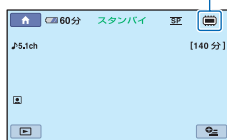
4 [完了しました]と表示されたら、[OK]をタッチする。

静止画用のメディアが切り換わります。

設定しているメディアを確認するには

① POWERスイッチを繰り返しずらして、メディアを確認したいランプ（（動画）/（静止画））を点灯させる。

② 画面右上のメディアアイコンを確認する。

メディアアイコン

（アイコン）	：内蔵メモリー
RW VIDEO	：ディスク（ディスクの種類によって異なります。詳しくは10ページをご覧ください。）
（アイコン）	：“メモリースティック PRO デュオ”

準備6：ディスクや“メモリースティック PRO デュオ”を入れる

「準備5」でメディアを[内蔵メモリー]に設定して撮影する場合は、「準備6」は必要ありません。

ディスクを入れる

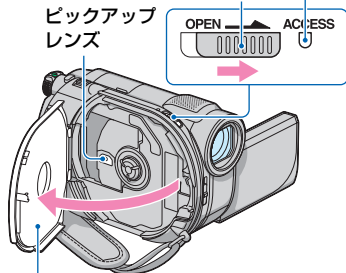
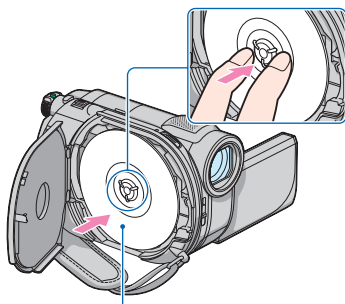
「準備5」でメディアを[ディスク]に設定した場合は、新しい8cm DVD-RW、8cm DVD+RW、8cm DVD-R、8cm DVD+R DLのいずれかを用意します（10ページ）。

ご注意

- ディスクに付着した指紋や汚れは、柔らかい布などで拭き取っておいてください（110ページ）。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

2 ディスクカバーOPENスイッチを矢印（OPEN⇒）の方向へずらす。

液晶画面に[取り出し準備中]と表示され、自動的にディスクカバーが少し開きます。

3 ディスクの記録面を本機側にして、「カチッ」というまで押し込む。

片面ディスクの場合、ラベル面が見えるようにして取り付ける

4 ディスクカバーを閉じる。

液晶画面に[ディスク認識中]と表示されます。
認識に時間がかかることがあります。

■DVD-RW/DVD+RWのとき

[ディスク選択ガイド]を使用するかを確認する画面が表示されます。使用する場合は、画面の指示に従って初期化を行ってください。使用しない場合は手順**5**に進んでください。

■DVD-R/DVD+R DLのとき

[ディスク認識中]の表示が消えたら、撮影を始められます。手順**5**以降の操作は必要ありません。

5 画面に表示される質問の答えをタッチする。

■DVD-RWのとき

記録フォーマットを[VIDEO]、または[VR]から選択し(10ページ)、OK をタッチする。

■DVD+RWのとき

動画の横縦比を[16:9 ワイド]、または[4:3]から選択し、OK をタッチする。

6 [はい]をタッチする。

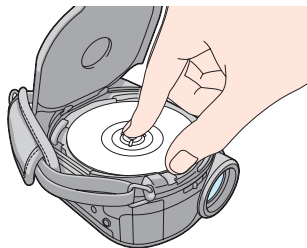
7 [完了しました]と表示されたら、OK をタッチする。

初期化が完了して、撮影を始められます。

ちょっと一言

- DVD-RWをお使いのとき、かんたん操作(30ページ)中は、記録フォーマットはVIDEOモードに固定されます。

ディスクを取り出すには

① 手順**1**~**2**を行ってディスクカバーを開く。
② 中央の固定部分を押さえながら、ディスクの端をつまみ上げるようにして取り出す。

ご注意

- ディスクカバーを開くときに、手や物がカバーの開閉の妨げにならないようにご注意ください。ベルトは、本機の下側にずらして操作してください。
- ディスクカバーを閉じるときにベルトをはさむと、故障の原因になります。
- 手がディスクの記録面やピックアップレンズに触れないようにしてください(115ページ)。両面ディスクを使用する場合は、特に指紋がつかないようにご注意ください。

次のページへつづく➡

- ディスクが正しく取り付けられていない状態でディスクカバーを閉じると、故障の原因となります。
- ディスク初期化中にバッテリーやACアダプターなどの電源を取りはずさないでください。
- ACCESSランプの点灯中や点滅中、または［ディスク認識中］/［取り出し準備中］と表示されているときは、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。
- 記録内容によっては、取り出しに時間がかかることがあります。
- ディスクに傷や汚れがついていると、取り出しに10分程度かかることがあります。その場合、ディスクが壊れている可能性があります。

ちょっと一言

- ACアダプターやバッテリーが取り付けてある場合は、電源を入れなくてもディスクを出し入れできます。ただしディスクの認識（手順**4**）は行いません。
- DVD-RW/DVD+RWで、過去に記録した内容をすべて削除し、新たにディスクに記録するには、「ディスクを初期化する」（67ページ）をご覧ください。
- ホームメニューの［ディスク選択ガイド］を使って最適なディスクを調べることができます（70ページ）。

"メモリースティック PRO デュオ"を入れる

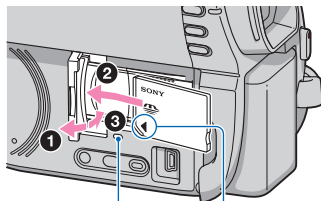
「準備5」でメディアを［メモリースティック］にした場合のみ操作します。本機で使える"メモリースティック"については、3ページをご覧ください。

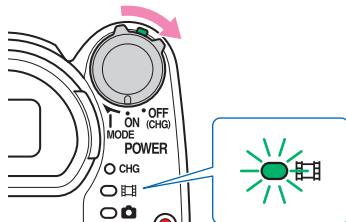
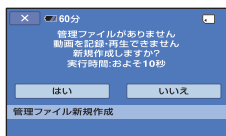
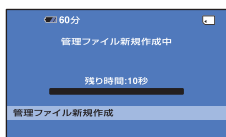
ちょっと一言

- "メモリースティック PRO デュオ"に静止画のみを記録する場合は、手順**3**以降の操作は必要ありません。

1 液晶画面を開く。

2 "メモリースティック PRO デュオ"を入れる。

❶ メモリースティック デュオ カバーを矢印の方向に開く。
❷ "メモリースティック PRO デュオ"を正しい向きに、「カチッ」というまで押し込む。
❸ メモリースティック デュオ カバーを閉じる。

3 「準備5」（25ページ）で［動画メディア設定］を［メモリースティック］に設定した場合は、POWERスイッチをずらして、🎞（動画）ランプを点灯させる。

「OFF（CHG）」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

新しい“メモリースティックPROデュオ”を入れたときは、液晶画面に[管理ファイル新規作成]画面が表示されます。

4 [はい]をタッチする。

“メモリースティック PRO デュオ”を取り出すには

液晶画面を開いてメモリースティック デュオ カバーを開き、“メモリースティック PRO デュオ”を軽く1回押し、本体に沿ってすべらせるように取り出す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中、または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。“メモリースティック PRO デュオ”の画像データが壊れる恐れがあるため、次のことをしないでください。
  - 本機からバッテリーやACアダプターを取りはずす
  - 本機に衝撃や振動を与える
  - 本機から“メモリースティック PRO デュオ”を取り出す
- 撮影中にメモリースティック デュオ カバーを開けないでください。
- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック PRO デュオ”やメモリースティック デュオ スロット、画像データが破損することがあります。
- 手順4で[管理ファイルを新規作成できませんでした　空き容量がたりない可能性があります]と表示されたときは、“メモリースティック PRO デュオ”を初期化してください(67ページ)。初期化すると“メモリースティック PRO デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- “メモリースティック PRO デュオ”を指でつまんで無理に取り出さないでください。故障の原因になります。

“メモリースティック PRO デュオ”の撮影可能時間の目安

(　)内は最低録画時間です。(単位:分)

録画モード	9M(HQ) 高画質	6M(SP) 標準画質	3M(LP) 長時間
512MB	6(5)	9(5)	15(10)
1GB	10(10)	20(10)	35(25)
2GB	25(25)	40(25)	80(50)
4GB	55(50)	80(50)	160(105)
8GB	115(100)	170(100)	325(215)

ご注意

- ソニー製“メモリースティック PRO デュオ”使用時。時間は撮影環境や“メモリースティック”の種類、[録画モード](75ページ)によって異なる場合があります。
- 撮影可能時間が5分以下の場合は、が表示されます。

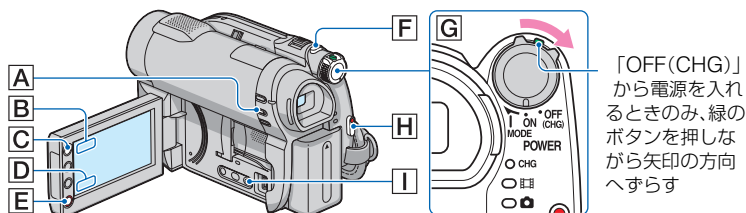
ちょっと一言

- 静止画の撮影可能枚数については、78ページをご覧ください。

準備する

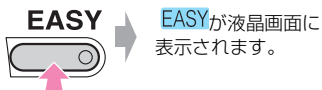
かんたんに撮って見る（EASYかんたん操作）

ほとんどの設定を自動的に行うので、細かい設定をしないで簡単に撮影、再生できます。また、文字も大きく見やすくなります。画像は、設定したメディアに記録されます（25ページ）。

「OFF（CHG）」から電源を入れるときのみ、緑のボタンを押しながら矢印の方向へずらす

動画を撮る

1 POWERスイッチGで、（動画）ランプを点灯させる。

2 EASYボタンAを押す。

EASYが液晶画面に表示されます。

3 START/STOPボタンH（またはE）を押して撮影を開始する。*

[スタンバイ]→[●録画]

もう一度押すと、録画ストップ。

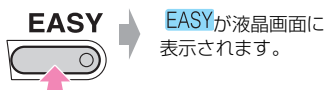
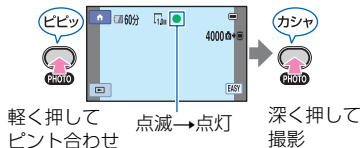
静止画を撮る

1 POWERスイッチGで、（静止画）ランプを点灯させる。

2 EASYボタンAを押す。

EASYが液晶画面に表示されます。

3 PHOTOボタンFを押して撮影する。

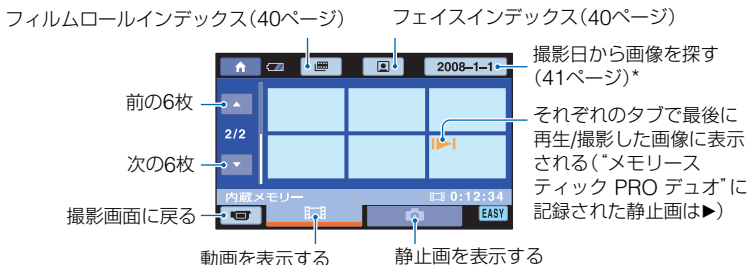
軽く押してピント合わせ　点滅→点灯　深く押して撮影

* 動画は録画モード[SP]で記録されます。

撮影した動画/静止画を見る

1 POWERスイッチ G を矢印の方向にずらして、電源を入れる。

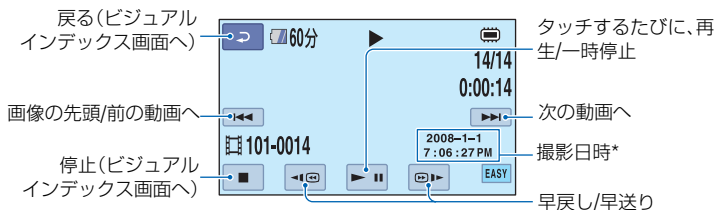
2 ▶(画像再生)ボタン I (または D)を押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます(数秒かかります)。

フィルムロールインデックス(40ページ)
フェイスインデックス(40ページ)
撮影日から画像を探す(41ページ)*
前の6枚
次の6枚
それぞれのタブで最後に再生/撮影した画像に表示される(“メモリースティック PRO デュオ”に記録された静止画は▶)
撮影画面に戻る
動画を表示する
静止画を表示する
2008–1–1
2/2
内蔵メモリー
0:12:34
EASY

* [動画メディア設定]を[ディスク]に設定している場合は(25 ページ)、ディスクの種類が表示されます。撮影日から動画を探すことはできません。

3 再生を始める。

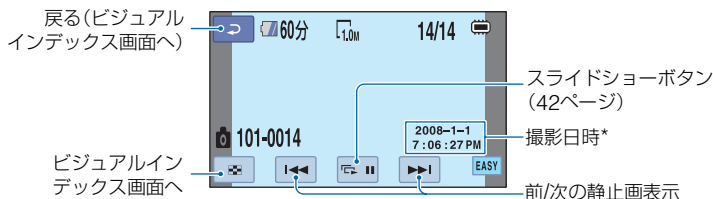
動画のときは:

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

* [日時 / データ表示]は[日付時刻データ]に固定されます(79 ページ)。

ちょっと一言
- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に ◀I / I▶ をタッチするとスロー再生が始まります。
- 動画の音量は、(ホーム)→(設定)→[音設定]→[音量]をタッチし、[−]/[＋]で調節します。
- 動画用のメディアは、[動画メディア設定]で切り換えてください(25ページ)。

次のページへつづく➡

静止画のときは：

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

* ［日時 / データ表示］は［日付時刻データ］に固定されます（79 ページ）。

ちょっと一言

- 静止画用のメディアは、［静止画メディア設定］で切り換えてください（25ページ）。

かんたん操作をやめるには

EASYボタンAをもう一度押す。
液晶画面の EASY 表示が消えます。

かんたん操作中のメニュー設定

（ホーム）ボタンC（またはB）をタッチすると設定可能なメニューが表示されます（14、73ページ）。

ご注意

- ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。設定値が固定されるメニュー項目もあります。詳しくは、74ページをご覧ください。
- DVD-RWを初期化するとき、記録フォーマットはVIDEOモードに固定されます（10ページ）。
- （オプション）ボタンは表示されません。
- 画像に効果を加えたり、いろいろな設定をしたいときはかんたん操作を解除してください。

かんたん操作中は使えないボタン

ほとんどの機能は自動設定されるため、使えないボタン/機能があります（74ページ）。使えないボタンを押すと、［ EASY かんたん操作中は無効です］とメッセージが出ることもあります。

ディスクを他機で見られるようにするには（ファイナライズ）

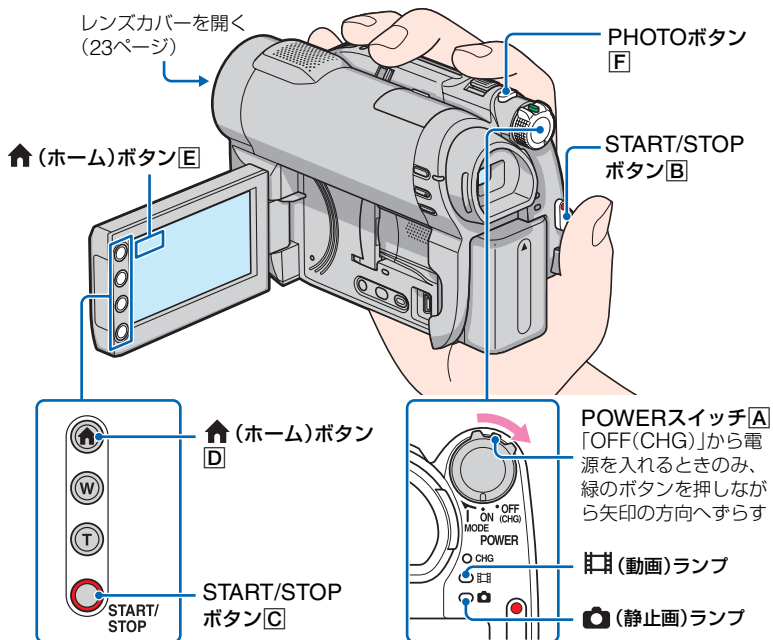
ディスクを他機やコンピュータで再生できるようにするには「ファイナライズ」が必要です。操作方法について詳しくは、64ページをご覧ください。

ご注意

- DVD-R、DVD+R DLは、1度ファイナライズするとディスクの記録容量が残っていても再利用や追加記録はできなくなります。
- かんたん操作中は、ファイナライズしたディスクに追加記録ができません（69ページ）。

撮る

画像は、設定したメディアに記録されます（25ページ）。お買い上げ時は、動画、静止画ともに内蔵メモリーに設定されています。

撮る/見る

ご注意

- 撮影終了後、ACCESSランプ（26ページ）/アクセスランプ（28ページ）点灯中、または点滅中は、撮影したデータをメディアに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプターを取りはずしたりしないでください。
- [動画メディア設定]を[内蔵メモリー]または[メモリースティック]に設定している場合（25ページ）、撮影中の動画のファイルサイズが2GBを超えると、自動的に次のファイルが生成されます。

ちょっと一言

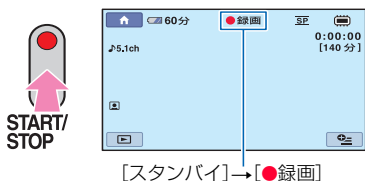
- 本機で使える"メモリースティック"については3ページをご覧ください。
- 動画用のメディアの残量を確認するには、（ホーム）→（メディア管理）→[メディア情報]をタッチします（66ページ）。

次のページへつづく➡

動画を撮る

1 POWERスイッチAを矢印の方向にずらして、(動画)ランプを点灯させる。

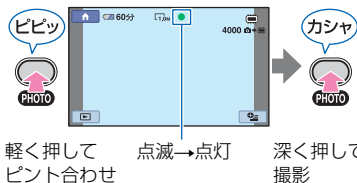
2 START/STOPボタンB(またはC)を押す。

[スタンバイ]→[●録画]

撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう一度押します。

静止画を撮る

1 POWERスイッチAを矢印の方向にずらして、(静止画)ランプを点灯させる。

2 PHOTOボタンFを押す。

軽く押してピント合わせ　点滅→点灯　深く押して撮影

または の横に が表示されます。 が消えると記録が完了します。

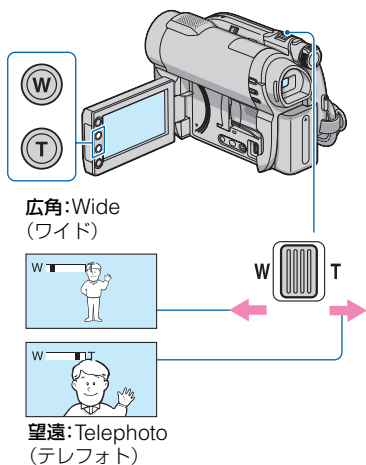
ご注意

- ディスクに静止画は記録できません。

ちょっと一言

- 動画の撮影可能時間は19ページ、静止画の撮影可能枚数は77ページをご覧ください。
- 動画撮影中に[インデックス設定]が[入](お買い上げ時の設定)のときは、 が表示されます(77ページ)。
- (ホーム)ボタンD(またはE)→ (撮影)→[動画]または[静止画]をタッチして、撮影モードを切り換えることもできます。
- 記録した動画から静止画を作成できます(48ページ)。

ズームする

25倍までズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面横のズームボタンで調整します。

ズームレバーを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームする。

ご注意

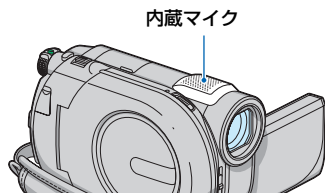
- T(望遠)側にズームすると、手ブレ補正が効きにくくなります。
- ズームレバーから急に指を離すと操作音が記録される場合があるのでご注意ください。
- 液晶画面横のズームボタンでは、ズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- [デジタルズーム](76ページ)を使うと、25倍を超えたズームを使えます。

臨場感のある音で記録する(5.1chサラウンド記録)

内蔵マイクでドルビーデジタル5.1chサラウンドの音声を記録できます。5.1chサラウンドに対応した機器で再生すると、臨場感あふれる音を楽しめます。

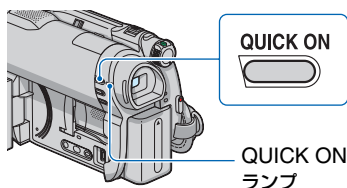
DOLBY DIGITAL 5.1 CREATOR

5.1chサラウンド音声/ドルビーデジタル5.1クリエーター☞用語集(129ページ)へ

ご注意

- 本機で5.1ch音声を再生すると、2chに変換されて出力されます。

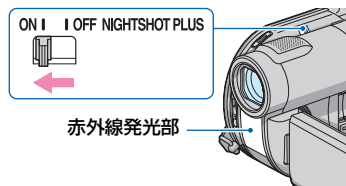
ちょっと一言

- 記録する音声を[5.1chサラウンド]/[2chステレオ]から選択できます([オーディオモード]、75ページ)。

すばやく撮影を始める(クイックオン)

電源を切るかわりにQUICK ONボタンを押すと、消費電力を抑えた状態(スリープモード)になります。スリープモード中は、QUICK ONランプが点滅します。次の撮影を始めるときにもう一度QUICK ONボタンを押すと、約1秒で撮影可能な状態になります。

ちょっと一言

- スリープモード中は撮影時と比較して約半分の消費電力となり、バッテリーの消耗を抑えられます。
- スリープモード中に操作をしない状態が続くと、自動的に電源が切れます。[クイック オン時間](83ページ)で、スリープモード中に電源が切れるまでの時間を設定できます。
- 撮影中にQUICK ONボタンを押すと、撮影を終了し、スリープモードになります。

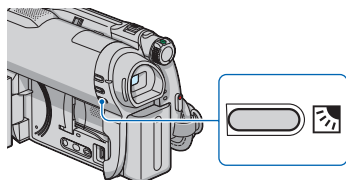
暗い場所で撮る(NightShot plus)

NIGHTSHOT PLUSスイッチを「ON」にすると、 が表示され、暗い場所で撮影できます。

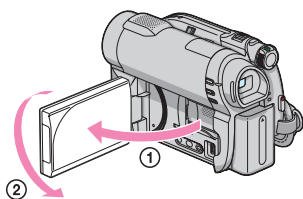
ご注意

- NightShot plusとSuper Nightshot plusは赤外線を利用するため、赤外線発光部を指などで覆わないでください。
- コンバージョンレンズ(別売り)ははずしてください。
- ピントが合いにくいときは、手動ピント合わせ([フォーカス]、86ページ)をしてください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

ちょっと一言

- さらに高感度で撮影するにはSuper Nightshot plus(89ページ)、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter(89ページ)が使えます。

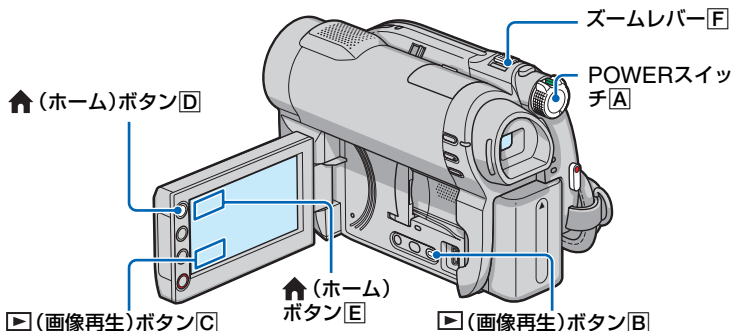
逆光を補正する

(逆光補正)ボタンを押すと、 が表示されて補正されます。
解除するにはもう一度押す。

自分撮り（対面撮影）する

液晶画面を90°まで開いてから（①）、レンズ側に180°回す（②）。

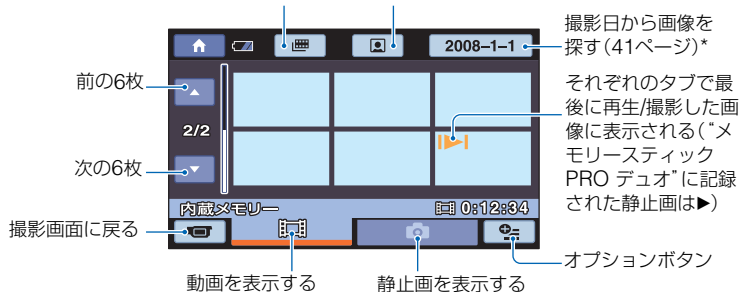
ちょっと一言

- 液晶画面には左右反転で映りますが、実際には左右正しく録画されます。
- 対面撮影中はファインダーには画像は映りません。

見る

設定したメディア(25ページ)に記録された画像を再生します。お買い上げ時は、動画、静止画ともに内蔵メモリーに設定されています。

1 POWERスイッチ A をずらして本機の電源を入れる。

2 (画像再生)ボタン B (または C)を押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます(数秒かかります)。

* [動画メディア設定]を[ディスク]に設定している場合は(25 ページ)、ディスクの種類が表示されます。撮影日から動画を探すことはできません。

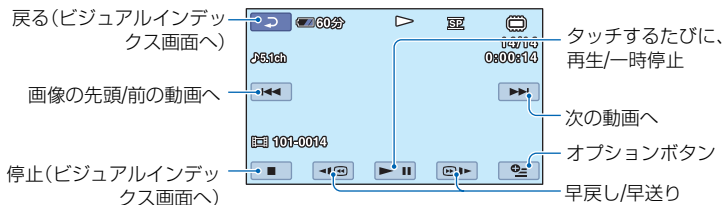
ちょっと一言

- ズームレバー F を動かすと、ビジュアルインデックス画面の表示枚数が6枚⇔12枚と切り換わります。(ホーム)ボタン D (または E)→ (設定)→[画像再生設定]→[表示枚数]でビジュアルインデックスに表示させる枚数を固定できます(80ページ)。

3 再生を始める。

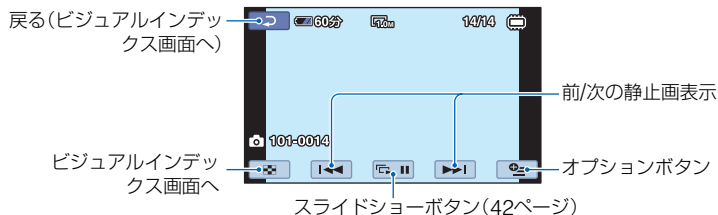
動画を見る

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。

ちょっと一言

- 一時停止中に◀II / II▶をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"を再生中は、◀II / II▶を1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速、3度タッチすると約30倍速、4度タッチすると約60倍速で動作します。
- ディスクの再生中は、◀II / II▶を1度タッチすると約5倍速、2度タッチすると約10倍速（DVD+RWの場合は約8倍速）で動作します。

静止画を見る

タブをタッチして、見たい画像をタッチする。

動画の音量を調節するには

動画再生中に（オプション）→▶タブ→[音量]をタッチし、[−]/[+]をタッチして調節する。

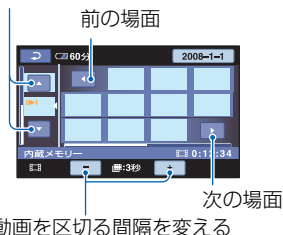
ちょっと一言
- (ホーム)ボタンD(またはE)→(画像再生)→[V.インデックス]をタッチして、ビジュアルインデックス画面に切り換えることもできます。

ピンポイントで見たい場面を探す（フィルムロールインデックス）

撮影した動画を時間間隔で区切った画像がインデックス画面で表示されます。選んだ場面から動画を再生できます。
あらかじめ、再生したい動画が記録されているメディアを設定しておきます（25ページ）。

1 本機の（画像再生）ボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 （フィルムロールインデックス）をタッチする。

3 / をタッチして、見たい動画を選ぶ。

4 / をタッチして、再生したい場面を選ぶ。

選んだ場面から再生されます。

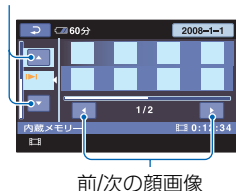
ちょっと一言
- (ホーム)→(画像再生)→[インデックス]をタッチしてもフィルムロールインデックス画面を表示できます。

顔画像から見たい場面を探す（フェイスインデックス）

撮影時に検出した人物の顔画像がインデックス画面で表示されます。選んだ顔画像の場面から動画を再生できます。
あらかじめ、再生したい動画が記録されているメディアを設定しておきます（25ページ）。

1 本機の（画像再生）ボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 （フェイスインデックス）をタッチする。

3 / をタッチして、見たい動画を選ぶ。

4 ◀/▶をタッチして、再生したい場面の顔画像を選ぶ。

選んだ場面から再生されます。

ご注意

- 撮影環境によっては顔が検出されない場合があります。
  例：メガネや帽子で顔が隠れている場合や正面を向いていない場合など
- [インデックス]画面から動画を探すには、[インデックス設定]をあらかじめ[入]（お買い上げ時の設定）にして撮影してください（77ページ）。顔が検出されていないと、フェイスインデックスが正しく表示されないことがあります。

ちょっと一言

- （ホーム）→（画像再生）→[インデックス]をタッチしてもフェイスインデックス画面を表示できます。

撮影日から画像を探す（日付インデックス）

撮影日から効率よく画像を探すことができます。
あらかじめ、再生したい動画が記録されているメディアを設定しておきます（25ページ）。

ご注意

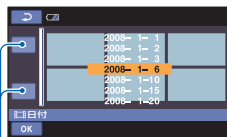
- 日付インデックスは、ディスクに記録された動画や"メモリースティック PRO デュオ"に記録された静止画では利用できません。

1 本機の（画像再生）ボタンを押す。

ビジュアルインデックス画面が表示されます。

2 動画を探しているときはタブを、静止画のときはタブをタッチする。

3 液晶画面右上の日付表示をタッチする。

画像の撮影日が表示されます。

日付送り/戻し

4 ▲/▼をタッチして見たい画像の撮影日を選び、OK をタッチする。

選んだ日付に撮影した画像が表示されます。

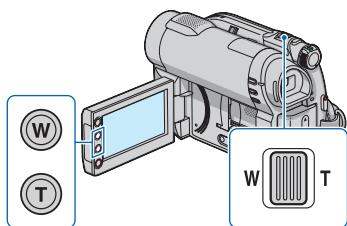
ちょっと一言

- フィルムロールインデックス画面やフェイスインデックス画面でも手順**3**～**4**の操作で日付インデックス画面を表示できます。

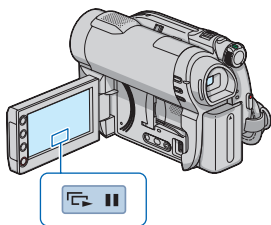
撮る/見る

次のページへつづく→

再生ズームする

静止画を1.1～5倍の範囲でズームできます。
倍率はズームレバーまたは液晶画面横のズームボタンで調整します。

① 拡大したい静止画を表示する。
② T（望遠）で静止画を拡大する。
画面に枠が表示されます。
③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。
タッチした部分が画面中央に移動します。
④ W（広角）/ T（望遠）で画像の大きさを調節する。

終了するには、[戻る]をタッチする。

静止画を連続再生する（スライドショー）

静止画再生画面で、[スライドショー]をタッチする。
選んだ静止画からスライドショーが始まります。
中止するには、[スライドショー]をタッチする。

再開するときは、もう一度[スライドショー]をタッチする。

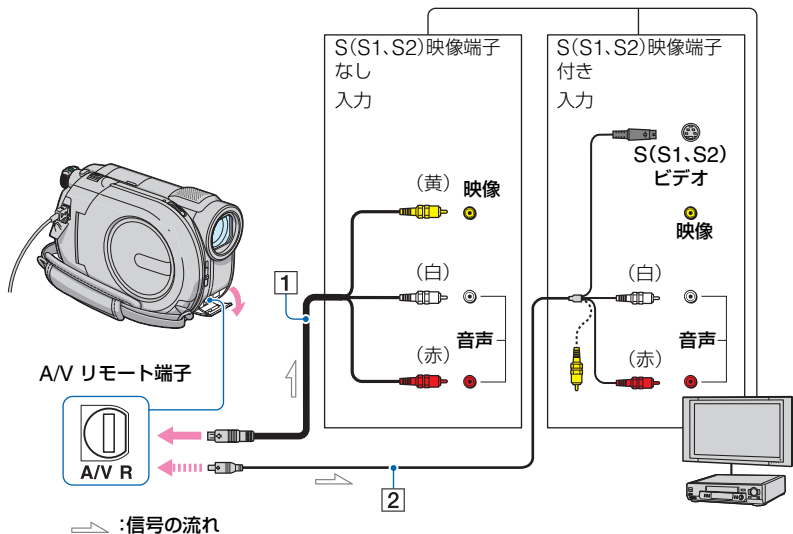
ご注意

- スライドショー再生中に再生ズームは使えません。

ちょっと一言

- ビジュアルインデックス画面の[オプション]（オプション）→[タブ]タブ→[スライドショー]でもスライドショー再生できます。
- 静止画再生中に、[オプション]（オプション）→[再生]タブ→[スライドショー設定]でスライドショーの繰り返し再生を設定できます。お買い上げ時の設定は[入]のため、画面に[繰り返し]が表示され、スライドショーが繰り返し再生されます。[切]に設定すると、選んだ画像から一巡してスライドショーが停止します。

テレビにつないで見る

A/V接続ケーブル（1）、またはS映像端子付きA/V接続ケーブル（2）で本機をテレビやビデオの入力端子につなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（19ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

:信号の流れ

1 **A/V接続ケーブル（付属）**

他機の入力端子につなぎます。

2 **S映像端子付きのA/V接続ケーブル（別売り）**

S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、画像をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」（ビデオ1、ビデオ2など）に切り換える。

テレビ（ワイド/4:3）に合わせて画像の横縦比を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて再生時の画像の横縦比を設定してください。

① 本機の電源を入れる。

② （ホーム）→（設定）→[出力設定]→[TVタイプ]→[16:9]または[4:3]→OKをタッチする。

ご注意

- ID-1/ID-2対応テレビにつないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の横縦比に切り換わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- [TVタイプ]を[4:3]に設定したときは、画質が下がることがあります。また、ワイド(16:9)と4:3の映像が切り換わるとき、画面が乱れることがあります。
- ワイド(16:9)画像をワイド信号非対応の4:3テレビでご覧になるときは、[TVタイプ]を[4:3]に設定してください。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

A/V接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

ちょっと一言

- [画面表示出力]を[ビデオ出力/パネル]に設定すると、テレビ画面でカウンターなどの情報を見ることができます(82ページ)。

（その他の機能）カテゴリーでできること

本機で、メディアに記録された画像の編集ができます。また、本機を他機につないで活用できます。

（その他の機能）カテゴリー

ご注意

- 編集したい画像のメディアは、（ホーム）→（メディア管理）→[動画メディア設定]または[静止画メディア設定]から設定できます（25ページ）。

項目一覧

削除
メディアから画像を削除します（46ページ）。

動画から静止画作成
動画からお好みの場面を静止画として記録できます（48ページ）。

動画ダビング
内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"に記録された動画をディスクにダビングします（49ページ）。

静止画コピー
内蔵メモリーに記録された静止画を"メモリースティック PRO デュオ"にコピーします（51ページ）。

編集
画像を編集します（52ページ）。

プレイリスト編集
プレイリストを作成、編集します（53ページ）。

印刷
PictBridgeプリンターに接続して、静止画をプリントします（59ページ）。

USB接続
本機とパソコンなどをUSBケーブルで接続します（91ページ）。

画像を削除する

ご注意
- いったん削除した画像は元に戻せません。

ちょっと一言
- 1度に100個までの画像を選べます。

動画を削除する

あらかじめ、削除したい動画が記録されているメディアを設定してください(25ページ)。

ご注意
- [動画メディア設定](25ページ)を[ディスク]に設定している場合は、かんたん操作(30ページ)中は動画をディスクから削除できません。かんたん操作を解除してください。

1 (ホーム)→(その他の機能)→[削除]をタッチする。

2 [削除]をタッチする。

3 [削除]をタッチする。

4 削除したい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。
動画を確認するには、その動画を長押しする。
選択画面に戻るにはをタッチする。

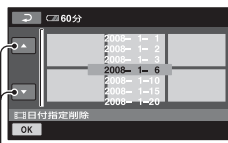
5 OK→[はい]をタッチする。

6 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

動画をすべて削除するには

① 手順**3**で[全削除]をタッチする。
② [はい]→[はい]をタッチする。
③ [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

動画を日付ごとにまとめて削除するには

① 手順**3**で[日付指定削除]をタッチする。

日付送り/戻し

② ▲/▼をタッチして削除したい動画の撮影日を選び、OKをタッチする。
選んだ日付に撮影した動画が表示されます。
動画を確認するには、その動画をタッチする。
選択画面に戻るにはをタッチする。
③ OK→[はい]をタッチする。
④ [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

最後に撮影した動画を削除するには

-RW VIDEO -RW VR +RW

① 手順**3**で[最終シーン削除]をタッチする。
② OK→[はい]をタッチする。
③ [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

撮影終了後、次の操作をした場合は、ディスクに最後に記録した動画を削除できません。
－ディスクを取り出す
－本機の電源を切る

ご注意

- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。
- "メモリースティック PRO デュオ"に記録された動画の削除中は"メモリースティック PRO デュオ"を抜かないでください。
- 削除した動画がプレイリスト（53ページ）に追加されている場合は、プレイリストに追加した動画も削除されます。
- 他機でプロテクト（誤消去防止）をかけた動画は"メモリースティック PRO デュオ"から削除できません。
- 不要な動画を削除してもディスクの空き容量がほとんど増えず、追加記録ができない場合があります。

ちょっと一言

- メディアに記録されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します（67ページ）。
- 動画の再生画面の（オプション）からも削除できます。

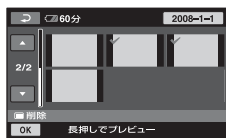
静止画を削除する

あらかじめ、削除したい静止画が記録されているメディアを設定してください（25ページ）。

1 **（ホーム）→（その他の機能）→[削除]をタッチする。**

2 **[削除]をタッチする。**

3 **[削除]をタッチする。**

4 **削除したい静止画をタッチする。**

選んだ静止画に✓が表示されます。
静止画を確認するには、その静止画を長押しする。
選択画面に戻るにはをタッチする。

5 **OK→[はい]をタッチする。**

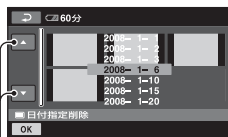
6 **[完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。**

編集する

静止画をすべて削除するには

① 手順**3**で[全削除]をタッチする。
② [はい]→[はい]をタッチする。
③ [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

静止画を日付ごとにまとめて削除するには

① 手順**3**で[日付指定削除]をタッチする。

日付送り/戻し

② ▲/▼をタッチして削除したい静止画の撮影日を選び、OKをタッチする。
選んだ日付に撮影した静止画が表示されます。
静止画を確認するには、その静止画をタッチする。
選択画面に戻るにはをタッチする。
③ OK→[はい]をタッチする。
④ [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意
- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた静止画は"メモリースティック PRO デュオ"から削除できません。

ちょっと一言
- 内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"に記録されているすべての画像を削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(67ページ)。
- 静止画の再生画面の(オプション)からも削除できます。

動画から静止画を作成する

記録済みの動画からお好みの場面の静止画を作成できます。
あらかじめ動画が記録されているメディアと、静止画を記録するメディアを設定してください(25ページ)。
静止画を記録するメディアを[メモリースティック]に設定した場合は、あらかじめ"メモリースティック PRO デュオ"を本機に入れておいてください。
本機では次のメディア間で静止画作成ができます。

動画記録元		静止画画記録先
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	
	→	

ご注意
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源をとってください。

1 (ホーム)→(その他の機能)→[動画から静止画作成]をタッチする。

[動画から静止画作成]画面が表示されます。

2 記録したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

3 記録したい場面で [▶ ❚❚] をタッチする。

再生が一時停止します。
[▶ ❚❚] を押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。

[▶ ❚❚] で場面を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

4 [OK] をタッチする。

静止画の作成/記録中は ||||||| が表示されます。
別の静止画を作成するには、[⮌] をタッチして手順**2**から繰り返す。
終了するには、[⮌]→[✕] をタッチする。

ご注意
- 静止画を記録するメディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日時になります。
- データコードがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成した日時と同じ日時になります。

本機のメディア間で画像をダビング/コピーする

動画をダビングする

メディアに記録した動画をディスクにダビングできます。
あらかじめディスクを本機に入れておいてください。
本機では、次のメディア間でダビングできます。

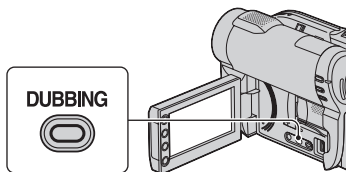
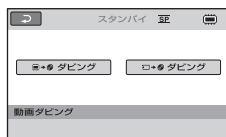
ダビング元		ダビング先
(内蔵メモリー)	→	(ディスク)
(メモリーカード)	→	(ディスク)

ご注意
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源をとってください。

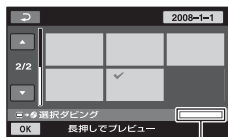
ちょっと一言
- ディスクに動画がダビングされたかを確認するには、[動画メディア設定]で[ディスク]を設定してください(25ページ)。

1 (ホーム)→(その他の機能)→[動画ダビング]をタッチする。または本機のDUBBINGボタンを押す。

[動画ダビング]画面が表示されます。

編集する

2 ダビングしたい動画が記録されたメディアをタッチする。

3 [選択ダビング]をタッチする。

4 ダビングしたい動画をタッチする。

ディスク残量表示*

* ■ 使用済み容量
■ (緑)選択した動画が使用する予定の容量
□ 空き容量

選んだ動画に ✔ が表示されます。

動画を確認するには、その動画を長押しする。

選択画面に戻るには [↩] をタッチする。
ダビングされる動画が1枚のディスクに収まらない場合は、[空き容量がたりません]と表示されます。

5 [OK] → [はい]をタッチする。

6 [完了しました]と表示されたら、[OK] をタッチする。

動画を日付ごとにまとめてダビングするには

① 手順**3**で[日付ダビング]をタッチする。

日付送り/戻し

② [▲]/[▼] をタッチしてダビングしたい動画の撮影日を選び、[OK] をタッチする。
選んだ日付に撮影された動画が表示されます。
動画を確認するには、その動画をタッチする。
選択画面に戻るには [↩] をタッチする。

③ [OK] → [はい]をタッチする。
ダビングされる動画が1枚のディスクに収まらない場合は、[空き容量がたりません]と表示されます。

④ [完了しました]と表示されたら、[OK] をタッチする。

プレイリスト(53ページ)の動画をすべてダビングするには

① 手順**3**で[全ダビング]をタッチする。
ダビングされる動画が1枚のディスクに収まらない場合は、[空き容量がたりません]と表示されます。

② [はい]をタッチする。

③ [完了しました]と表示されたら、[OK] をタッチする。

バックアップしていない動画をバックアップするには

① 手順**3**で[バックアップ]をタッチする。
② [バックアップしていない画像をバックアップします]→[はい]をタッチする。
③ [完了しました]と表示されたら、OKを
タッチする。
バックアップされる動画が1枚のディスクに収まらない場合は[ディスクがいっぱいになりました]と表示され、片面ディスクの場合で必要な予定枚数が表示されます。ディスクを用意し、手順①から操作を繰り返してください。

ご注意

- バックアップされる動画が1枚のディスクに収まらない場合、それぞれのディスクの最後の動画が自動的に分割され、ディスクの容量いっぱいまでバックアップされます。

ちょっと一言

- 手順**3**で[バックアップ]→[先頭の画像からバックアップします　過去のバックアップ履歴は削除されます]を選んでバックアップすると、バックアップ済みの動画も含め、すべての動画がバックアップされます。[バックアップ]機能を使ってバックアップした動画のみ、本機にバックアップ履歴が残ります。

静止画をコピーする

メディアに記録した静止画を"メモリースティックPRO デュオ"にコピーできます。あらかじめ、"メモリースティック PRO デュオ"を本機に入れておいてください。
本機では次のメディア間でコピーできます。

コピー元		コピー先
(内蔵メモリー)	→	(メモリースティック)

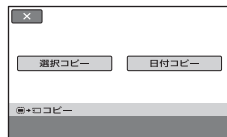
ご注意

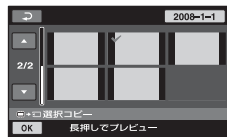
- 途中で電源が切れないように、付属のACアダプターを使ってコンセントから電源をとってください。

ちょっと一言

- "メモリースティック PRO デュオ"に静止画がコピーされたかを確認するには、[静止画メディア設定]で[メモリースティック]を設定してください(25ページ)。

1 (ホーム)→(その他の機能)→[静止画コピー]をタッチする。

[静止画コピー]画面が表示されます。

2 [選択コピー]をタッチする。

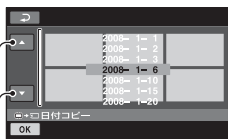
3 コピーしたい静止画をタッチする。

選んだ静止画に✓が表示されます。
静止画を確認するには、その静止画を長押しする。
選択画面に戻るにはをタッチする。

4 OK→[はい]をタッチする。

編集する

5 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

静止画を日付ごとにまとめてコピーするには

① 手順**2**で[日付コピー]をタッチする。

日付送り/戻し

② ▲/▼をタッチしてコピーしたい静止画の撮影日を選び、OKをタッチする。
選んだ日付に撮影した静止画が表示されます。
静止画を確認するには、その静止画をタッチする。
選択画面に戻るには↩をタッチする。

③ OK→[はい]をタッチする。

④ [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

動画を分割する

あらかじめ、分割したい動画が記録されているメディアを設定してください(25ページ)。

1 (ホーム)→(その他の機能)→[編集]をタッチする。

2 [分割]をタッチする。

3 分割したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

4 分割したい場面で▶II をタッチする。

再生が一時停止します。
▶II を押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。

▶II で分割位置を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

5 OK→[はい]をタッチする。

6 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

プレイリストを作る

ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。
- "メモリースティック PRO デュオ"に記録された動画の分割中は"メモリースティック PRO デュオ"を取り出さないでください。
- [動画メディア設定]を[内蔵メモリー]、または[メモリースティック]に設定している場合は、オリジナルの動画を分割するとプレイリストに追加した動画も分割されます。
  [ディスク]に設定している場合は、オリジナルの動画を分割してもプレイリストに追加した動画は分割されません。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、▶II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

ちょっと一言

- 動画の再生画面の（オプション）からも分割できます。
- 本機で撮影して記録された画像を「オリジナル」といいます。

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、お好みの動画を選んで作成したリストのことです。
プレイリストに追加した動画を編集しても、オリジナルの動画には影響ありません。
あらかじめ、プレイリストを作成/再生/編集するメディアを設定してください（25ページ）。

ちょっと一言

- プレイリストには内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"では99個、ディスクでは999個までの動画を追加できます。
- 本機で撮影して記録された画像を「オリジナル」といいます。

1 （ホーム）→（その他の機能）→[プレイリスト編集]をタッチする。

2 [追加]をタッチする。

3 追加したい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。
動画を確認するには、その動画を長押しする。
選択画面に戻るには をタッチする。

4 OK→[はい]をタッチする。

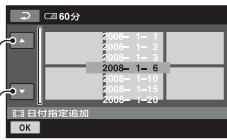
次のページへつづく➡

5 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

すべての動画をプレイリストに追加するには

① 手順**2**で[全追加]をタッチする。
② [はい]→[はい]をタッチする。
③ [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

動画を日付ごとにまとめてプレイリストに追加するには

① 手順**2**で[日付指定追加]をタッチする。

日付送り/戻し

② ▲/▼をタッチして追加したい動画の撮影日を選び、OKをタッチする。
選んだ日付に撮影された動画が表示されます。
動画を確認するには、その動画をタッチする。
選択画面に戻るには をタッチする。
③ OK→[はい]をタッチする。
④ [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意
- 追加中は、本機からバッテリーやACアダプターを取りはずさないでください。
- "メモリースティック PRO デュオ"に記録された動画の追加中は"メモリースティック PRO デュオ"を取り出さないでください。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

ちょっと一言
- 動画の再生画面の (オプション)からも追加できます。
- 付属のソフトウェアを使って、プレイリストをそのままディスクに保存することができます。

プレイリストを再生する

あらかじめ、プレイリストを作成/再生/編集するメディアを設定してください(25ページ)。

1 (ホーム)→(画像再生)→[プレイリスト]をタッチする。

プレイリストに追加された動画が表示されます。

2 再生したい動画をタッチする。

選んだ動画からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻ります。

追加した動画をプレイリストから消去するには

① （ホーム）→（その他の機能）→［プレイリスト編集］をタッチする。

② ［消去］をタッチする。
すべての動画を消去するには、［全消去］→［はい］→［はい］をタッチし、［完了しました］と表示されたらOKをタッチする。

③ プレイリストから消去したい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。
動画を確認するには、その動画を長押しする。
選択画面に戻るにはをタッチする。

④ OK→［はい］をタッチする。

⑤ ［完了しました］と表示されたら、OKをタッチする。

ちょっと一言

- プレイリストに追加した動画を消去しても、オリジナルの動画は消去されません。

追加した動画を並べかえるには

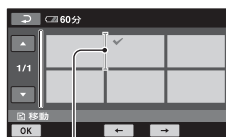
① （ホーム）→（その他の機能）→［プレイリスト編集］をタッチする。

② ［移動］をタッチする。

③ 移動させたい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。
動画を確認するには、その動画を長押しする。
選択画面に戻るにはをタッチする。

④ OKをタッチする。

⑤ ←/→で移動先を選ぶ。

移動先表示

⑥ OK→［はい］をタッチする。

⑦ ［完了しました］と表示されたら、OKをタッチする。

ちょっと一言

- 複数の動画を選んだ場合は、プレイリストで並んでいた順番で移動します。

次のページへつづく→

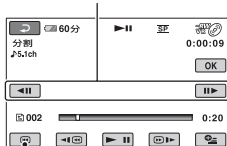
追加した動画を分割するには

① （ホーム）→（その他の機能）→［プレイリスト編集］をタッチする。

② ［分割］をタッチする。

③ 分割したい動画をタッチする。
選んだ動画が再生されます。

④ 分割したい場面で ▶ II をタッチする。
再生が一時停止します。
▶ II を押すたびに、再生と一時停止が切り換わります。

▶ II で分割位置を決定してから微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

⑤ OK →［はい］をタッチする。

⑥ ［完了しました］と表示されたら、OK をタッチする。

ご注意

- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、▶ II で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

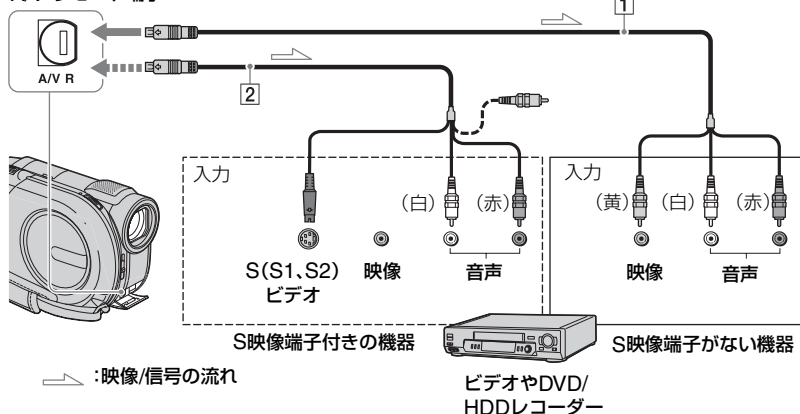
ちょっと一言

- プレイリストに追加した動画を分割しても、オリジナルの動画は分割されません。

ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングする

A/V接続ケーブルで接続する

本機と他のビデオ、DVD/HDDレコーダーを接続すると、本機の動画を他のディスクやビデオテープへダビングできます。下図のどちらかの方法で接続してください。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください（19ページ）。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化することがあります。

1 **A/V接続ケーブル（付属）**
他機の入力端子につなぎます。

2 **S映像端子付きのA/V接続ケーブル（別売り）**
S（S1、S2）映像端子のある機器につなぐときは、このケーブルで接続すると、付属のA/V接続ケーブルに比べ、動画をより忠実に再現できます。白と赤のプラグ（左右音声端子）とS映像プラグ（S映像端子）のみ接続し、黄色いプラグ（映像端子）は接続不要です。S映像プラグのみつないだ場合、音声は出力されません。

ご注意
- 接続した機器の画面にカウンターなどの表示を出さない場合は、（ホーム）→（設定）→[出力設定]→[画面表示出力]→[パネル]（お買い上げ時の設定）にしてください（82ページ）。
- 日時やカメラデータをダビングしたいときは、それらを表示させてください（79ページ）。
- 他機がモノラル（ひとつの音声入力/出力）の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。

1 本機の電源を入れる。

2 ダビングしたい動画が記録されているメディアに設定する(25ページ)。

3 ▶(画像再生)ボタンを押す。

再生機器(テレビなど)に合わせて、[TVタイプ]を設定する(43ページ)。

4 録画側のビデオは録画用カセットテープ、DVDレコーダーは録画用ディスクをセットする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にする。

5 本機と録画側の機器(ビデオ、DVD/HDDレコーダー)を、A/V接続ケーブル(1、付属)またはS映像端子付きA/V接続ケーブル(2、別売り)でつなぐ。

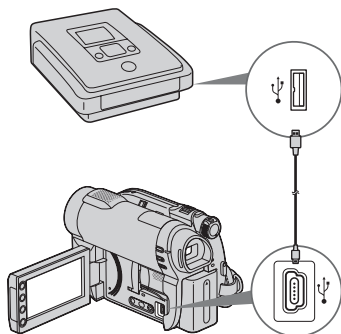
録画側の機器の入力端子につなぐ。

6 本機で再生を始め、録画側の機器で録画を始める。

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

7 ダビングが終わったら、録画側の機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

USBケーブルで接続する

本機をUSB接続動画ダビングに対応したDVDライターなどに接続すると、画質を劣化することなくダビングできます。
本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(19ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機の電源を入れる。

2 USBケーブル(付属)の本機の(USB)端子とDVDライターなどをつなぐ(123ページ)。

本機の画面に[USB機能選択]画面が表示されます。

3 ダビングしたい動画が記録されているメディアを選ぶ。

4 **接続した機器で録画を始める。**

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

5 **ダビングが終わったら、[終了]→[はい]をタッチして、USBケーブルを抜く。**

静止画を印刷する(PictBridge対応プリンター)

PictBridge対応のプリンターを使うと、本機で撮影した静止画をパソコンを使わずに印刷できます。

PictBridge

本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(19ページ)。
あらかじめ、印刷したい静止画が記録されているメディアを設定して(25ページ)、プリンターの電源を入れておいてください。"メモリースティック PRO デュオ"に記録された静止画を印刷する場合は、事前に静止画を記録した"メモリースティック PRO デュオ"を本機に入れておいてください。

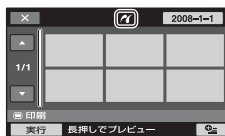
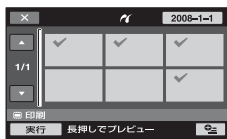
1 **本機の電源を入れる。**

2 **USBケーブル(付属)で本機の(USB)端子とプリンターをつなぐ(123ページ)。**

本機の画面に[USB機能選択]画面が表示されます。

3 **[印刷]をタッチする。**

本機とプリンターの接続が完了すると画面に(PictBridge接続中)が表示されます。

次のページへつづく→

4 印刷したい静止画をタッチする。

選んだ静止画✔が表示されます。
静止画を確認するには、その静止画を長押しする。
選択画面に戻るには[↩]をタッチする。

5 (オプション)をタッチして次の設定をしたら、[OK]をタッチする。

[印刷部数]:1枚の静止画を印刷する部数。最大20部まで印刷部数を設定できる。

[日付/時刻]:[年月日]、[日時分]または[切](日付/時刻印刷なし)から選ぶ。

[用紙サイズ]:印刷用紙のサイズを選ぶ。

変更しないときは、手順**6**に進む。

6 [実行]→[はい]をタッチする。

7 [印刷終了しました]と表示されたら、[OK]をタッチする。

静止画選択画面に戻ります。

印刷を終了するには

静止画選択画面で[✕]をタッチする。

ご注意

- PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。
- プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 画面に が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。
  - POWERスイッチを切り換える
  - [▶](画像再生)ボタンを押す
  - 本機またはプリンターからUSBケーブルを抜く
  - "メモリースティック PRO デュオ"に記録された静止画を印刷するとき、本機から"メモリースティック PRO デュオ"を取り出す
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターが対応していない用紙サイズは選択できません。
- プリンターによっては、静止画の上下左右が切れる場合があります。特に静止画がワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 次の静止画は印刷できないことがあります。
  - パソコンで編集した静止画
  - 他機で撮影した静止画
  - ファイルサイズが4MBより大きい静止画
  - 画素数が3,680×2,760より大きい静止画

ちょっと一言

- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカーや機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに静止画を印刷できます。
- 静止画の再生画面の(オプション)からも印刷できます。

(メディア管理)カテゴリーでできること

メディアに関するさまざまな操作ができます。

(メディア管理)カテゴリー

項目一覧

動画メディア設定
動画用のメディアを設定します(25ページ)。

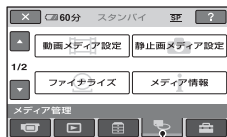
静止画メディア設定
静止画用のメディアを設定します(25ページ)。

ファイナライズ
ディスクをファイナライズします(62ページ)。

メディア情報
録画可能時間などのメディアの情報が表示されます(66ページ)。

メディア初期化
メディアを初期化して再利用できます(67ページ)。

ファイナライズ解除
ファイナライズ後のディスクに追加記録するために、解除します(69ページ)。

ディスク選択ガイド
最適なディスクの種類を本機が教えてくれます(70ページ)。

管理ファイル修復
内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"の管理情報を修復します(70ページ)。

ディスクを他機で見られるようにする（ファイナライズ）

「ファイナライズ」とは、動画を記録したディスクを、DVDプレーヤーやパソコンのDVDドライブなどで再生できるようにする互換処理です。
ファイナライズ時に、動画を一覧表示できるDVDメニューのスタイルを選ぶことができます（64ページ）。

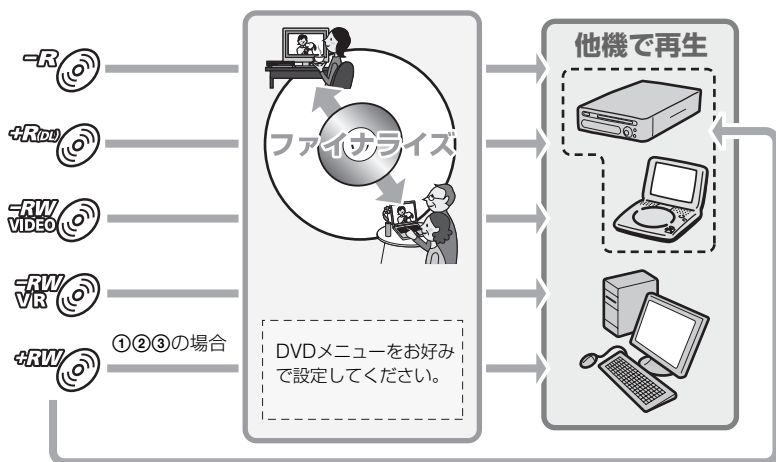
お使いのディスクによってファイナライズに関する特徴が異なります。

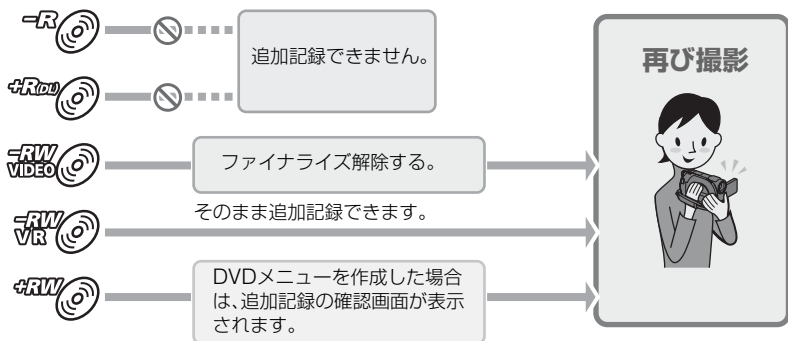
- DVD-RW/DVD-R/DVD+R DL：ファイナライズが必要です。
- DVD+RW：ファイナライズは不要です。**ただし、次の場合はファイナライズが必要です。**
  ① DVDメニューを作成したいとき
  ② パソコンのDVDドライブで再生したいとき
  ③ 記録時間が短いとき（HQモードで5分以下、SPモードで8分以下、LPモードで15分以下）

ご注意

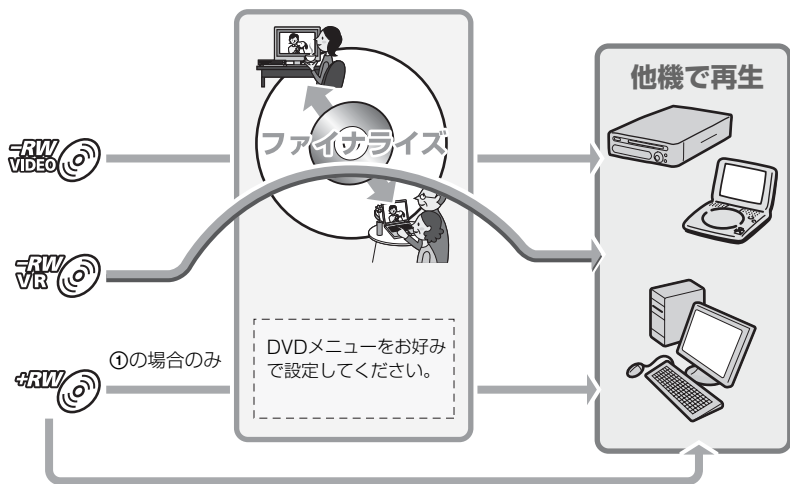
- すべての機器での再生を保証するものではありません。
- DVD-RW（VRモード）ではDVDメニューを作成できません。

操作の流れ

 初めて他機で再生するときは（64ページ）

ファイナライズ後のディスクに追加記録するときは（69ページ）

ご注意

- かんたん操作（30ページ）中は、DVD-RW、DVD+RWをお使いのときでも追加記録ができません。かんたん操作を解除してください。

追加記録後に再び他機で再生する場合は（64ページ）

メディアを使いこなす

ファイナライズする

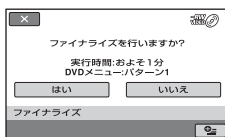
ご注意

- ファイナライズにかかる時間は約1分〜最大数時間です。ディスクの記録容量が少ないほど（録画時間が短いほど）、かかる時間は長くなります。

1 **本機を安定したところに置き、ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。**

2 **本機の電源を入れる。**

3 **ファイナライズしたいディスクを入れる。**

4 **（ホーム）→（メディア管理）→［ファイナライズ］をタッチする。**

DVDメニューのスタイルを選ぶには、（オプション）→［DVDメニュー］をタッチする（64ページ）。
行わないときは手順**5**へ進む。その場合は、［パターン1］（お買い上げ時の設定）でファイナライズされる。

5 **［はい］→［はい］をタッチする。**

ファイナライズが始まります。

6 **ファイナライズが完了したら、［OK］をタッチする。**

ご注意

- 両面ディスクの場合は、それぞれの面でファイナライズを行ってください。
- ファイナライズ中は、本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜いたりしないようにしてください。
  やむを得ずACアダプターを抜くときは、本機の電源を切り、（動画）ランプ/（静止画）ランプが消えてから抜いてください。
  再びACアダプターを接続して電源を入れるとファイナライズが再開されます。

ちょっと一言

- DVDメニューを作成する設定にした場合は、ファイナライズ中にDVDメニュー画面が一時的に表示されます。
- ファイナライズ後はディスク表示の下に、が付きます。例えば、DVD-RW（VIDEOモード）ではとなります。

DVDメニューのスタイルを選ぶには

① 手順**4**で（オプション）→［DVDメニュー］をタッチする。

② ［←］/［→］で4種類の中から好みのパターンを選ぶ。

DVDメニューを作成しないときは、［メニューなし］を選ぶ。

③ ［OK］をタッチする。

ご注意
- かんたん操作（30ページ）中は、DVDメニューは［パターン1］に固定されます。
- DVD-RW（VRモード）ではDVDメニューを作成できません。

ディスクを他機で再生する

プレーヤーで再生する

ファイナライズ（62ページ）を行うと、本機で記録したディスクをDVD機器で再生できます。ただし、すべての機器での再生を保証するものではありません。
ソニー製品との互換性は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdguide/
DVD+RWはファイナライズせずに再生できます。

ご注意
- 8cm CD用のアダプターを使わないでください。故障の原因になります。
- 縦置きの機器は、ディスクが水平になるように設置して再生してください。
- 機器によって、再生できなかったり、場面のつなぎ目で動画が一時停止したり、一部の機能が使えなかったりする場合があります。

ちょっと一言
- 字幕表示に対応している機器では、その機能を利用して、撮影した日時を字幕の位置に表示させることができます（76ページ）。機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- DVDメニュー（64ページ）を作成したときは、メニュー画面で見たい動画を選べます。

パソコンで再生する

ファイナライズ（62ページ）を行うと、本機で記録したディスクを、DVD再生ソフトがインストールされているパソコンで再生できます。

ご注意
- DVD+RWをお使いの場合でも必ずファイナライズを行ってください（64ページ）。ファイナライズせずにディスクを再生すると、故障の原因になります。
- パソコンのDVDドライブが8cm DVDに対応している必要があります。
- 8cm CD用のアダプターを使わないでください。故障の原因になります。

次のページへつづく➡

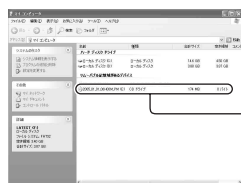
- パソコンによっては、ディスクを再生できなかったり、画像がなめらかにならない場合もあります。
- ディスクに記録されている動画ファイルを、パソコンへ直接コピーして再生や編集をすることはできません。

ちょっと一言

- 詳しい操作方法は、CD-ROM（付属）の「PMBガイド」をご覧ください（91ページ）。

ディスクのボリュームラベルには

ディスク使用開始日時が記入されます。

<例>
2008年1月1日午前6時に使用を開始した場合のボリュームラベル：
2008_01_01_06H00M_AM

ちょっと一言

- ディスクの動画は、下記のフォルダに保存されています。
  – DVD-RW（VRモード）のとき：
  DVD_RTA/Vフォルダ
  – 上記以外のディスク、モードのとき：
  VIDEO_TSフォルダ

メディア情報を確認する

［動画メディア設定］で設定しているメディアの録画可能時間の目安や使用率を確認できます。

（ホーム）→（メディア管理）→［メディア情報］をタッチする。

をタッチするとその他の情報を確認できます。
閉じるには、をタッチする。

ご注意

- 内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"の容量は、1MBが1,048,576バイトで計算され、MBに満たない端数は切り捨てられて表示されます。そのため、使用領域と空き領域を足しても、若干小さい数値が表示されます。
- 管理ファイル用領域があるため、［メディア初期化］（67ページ）を行っても、使用領域の表示は0MBになりません。

ちょっと一言

- ［動画メディア設定］で設定しているメディア以外の情報は表示されません。必要に応じてメディアの設定を切り換えてください（25ページ）。

画像をすべて削除する(初期化)

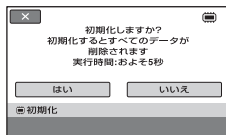
「初期化」とは、記録した画像をすべて削除して、メディアの記録容量を元に戻すことです。
大切な画像データは、初期化する前に他のメディアにダビングまたはコピーしてください(49、57ページ)。

内蔵メモリー/"メモリースティック PRO デュオ"を初期化する

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 本機の電源を入れる。

3 "メモリースティック PRO デュオ"を初期化するときは、初期化する"メモリースティック PRO デュオ"を本機に入れる。

4 (ホーム)→(メディア管理)→[メディア初期化]→[内蔵メモリー]または[メモリースティック]をタッチする。

5 [はい]→[はい]をタッチする。

6 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意

- 初期化中は本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜いたりしないようにしてください。
- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけた画像も削除されます。
- [実行中]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
  - POWERスイッチまたはボタンの操作
  - "メモリースティック PRO デュオ"を初期化する場合、本機から"メモリースティック PRO デュオ"を取り出す

ディスクを初期化する

DVD-R/DVD+R DLは初期化できません。新しいディスクに取り替えてください。

ファイナライズ済みのディスクを初期化した場合は

- DVD-RW(VIDEOモード)のときは、ファイナライズされていない状態になります。他機で見るときは、再びファイナライズが必要です。
- DVD-RW(VRモード)、DVD+RWのときは、ファイナライズされた状態のまま、すべての動画が削除されます。本機の画面には-RW VR、+RWが表示されつづけます。他機で見るときは再びファイナライズする必要はありません。*

* DVD+RWでDVDメニューを作成したいときは、再びファイナライズが必要です(64ページ)。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 本機の電源を入れる。

3 初期化したいディスクを入れる。

4 (ホーム)→ (メディア管理)→[メディア初期化]→[ディスク]をタッチする。

■DVD-RWのとき

記録フォーマットを[VIDEO]、または[VR]から選択し(10ページ)、OKをタッチする。

■DVD+RWのとき

動画の横縦比を[16:9 ワイド]、または[4:3]から選択し、OKをタッチする。

5 [はい]をタッチする。

6 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意

- 初期化中は本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜いたりしないようにしてください。
- 両面ディスクの場合は、それぞれの面で初期化を行ってください。各面を別の記録フォーマットで初期化できます。
- DVD＋RWのときは、設定した動画の横縦比をディスクの途中で変更できません。変更するためには再び初期化してください。
- 他機でプロテクト(誤消去防止)をかけたディスクは初期化できません。プロテクトをかけた機器でプロテクトを解除してから初期化してください。

ちょっと一言

- DVD-RWをお使いのとき、かんたん操作(30ページ)中は、記録フォーマットはVIDEOモードに固定されます。

ファイナライズ後に本機で追加記録する

DVD-RW（VIDEOモード）/DVD+RWでは、次の操作を行うとファイナライズしたディスクに追加記録できます。
DVD-RW（VRモード）はそのまま追加記録できます。

ご注意

- DVD-R、DVD+R DLは、ファイナライズ後に追加記録できません。新しいディスクに取り替えてください。

DVD-RW（VIDEOモード）のとき（ファイナライズ解除）

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 本機の電源を入れる。

3 ファイナライズ済みのディスクを入れる。

4 （ホーム）→（メディア管理）→[ファイナライズ解除]をタッチする。

5 [はい]→[はい]をタッチする。

6 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

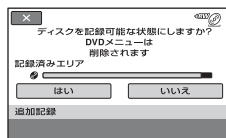
DVD+RWのとき

ファイナライズ時にDVDメニュー（64ページ）を作成した場合は、追加記録をする前に次の操作が必要です。

1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 POWERスイッチをずらして、（動画）ランプを点灯させる。

3 ファイナライズ済みのディスクを入れる。

追加記録の確認画面が表示されます。

4 [はい]→[はい]をタッチする。

5 [完了しました]と表示されたら、OKをタッチする。

ご注意

- 操作中は本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターを抜いたりしないようにしてください。
- ファイナライズで作成したDVDメニューは削除されます。
- 両面ディスクの場合は、それぞれの面で操作を行ってください。

最適なディスクを決める（ディスク選択ガイド）

画面の質問に答えていくと、ご希望のディスクの種類がわかります。

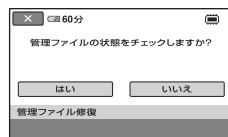
1 （ホーム）→ （メディア管理）→[ディスク選択ガイド]をタッチする。

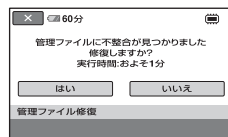
2 質問の答えをタッチする。

[ディスク選択ガイド]で選んだディスクを本機に入れると、選択した設定で初期化できます（67ページ）。

管理ファイルを修復する

管理情報と、内蔵メモリーの動画/静止画や“メモリースティックPRO デュオ”の動画との整合性を確認し、不整合があれば修復します。

1 （ホーム）→ （メディア管理）→[管理ファイル修復]→[内蔵メモリー]または[メモリースティック]をタッチする。

2 [はい]をタッチする。

管理ファイルのチェックが始まります。

不整合が見つからなかった場合は、OK をタッチして終了する。

3 [はい]をタッチする。

4 [完了しました]と表示されたら、OK をタッチする。

ご注意

- 管理ファイル修復中は、本機に振動や衝撃を与えたり、ACアダプターやバッテリーをはずしたりしないでください。
- "メモリースティック PRO デュオ"の管理ファイルの修復中は"メモリースティック PRO デュオ"を抜かないでください。
- 内蔵メモリーと"メモリースティック PRO デュオ"の修復は、それぞれ別に実行されます。

内蔵メモリーのデータを復元しにくくする

内蔵メモリーに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。本機を廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐために[データ消去]を行うことをおすすめします。

ご注意

- [データ消去]を行うと、画像はすべて消去されます。大切な画像データは、[データ消去]する前に他のメディアにダビングまたはコピーしてください(49、57ページ)。
- ACアダプターを使って電源をコンセントからとっていないと、[データ消去]はできません。
- ACアダプター以外のケーブル類ははずしてください。
- [データ消去]中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

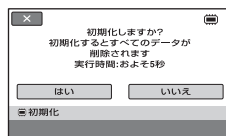
1 ACアダプターを本機のDC IN端子とコンセントにつなぐ。

2 本機の電源を入れる。

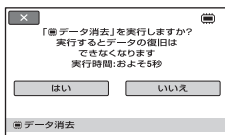
3 (ホーム)→(メディア管理)→[メディア初期化]→[内蔵メモリー]をタッチする。

内蔵メモリーの初期化の画面が表示されます。

メディアを使いこなす

次のページへつづく

4 ［逆光補正アイコン］（逆光補正）ボタンを長押しする（123ページ）。

（123ページ）

［［内蔵メモリーアイコン］データ消去］画面が表示されます。

5 ［はい］→［はい］をタッチする。

6 ［完了しました］と表示されたら、OKをタッチする。

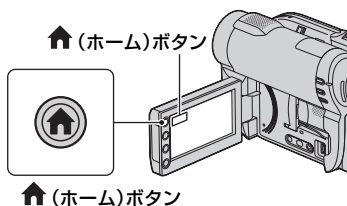
ご注意

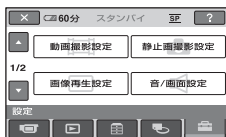
- ［実行中］と表示されている間に中止した場合は、次に本機を使う前に、もう一度［［内蔵メモリーアイコン］データ消去］を実行して完了させてください。

ホームメニューの（設定）カテゴリーでできること

お買い上げ時に設定されている撮影機能や本機の動作を、お好みに合わせて変更できます。

設定のしかた

1 本機の電源を入れ、（ホーム）ボタンを押す。

（設定）カテゴリー

2 （設定）をタッチする。

3 希望する設定項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させます。

4 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、▲/▼をタッチして、表示させます。

5 希望の設定にして、OK をタッチする。

（設定）カテゴリーの項目一覧

動画撮影設定（75ページ）

項目	ページ
録画モード	75
オーディオモード	75
NIGHTSHOT ライト	75
ワイド切換	75
デジタルズーム	76
手ブレ補正	76
オートスロシャッタ	76
ガイドフレーム	76
残量表示設定	76
プレーヤ用日付記録	76
インデックス設定*	77

静止画撮影設定（77ページ）

項目	ページ
画像サイズ*	77
ファイルナンバー	78
NIGHTSHOT ライト	75
ガイドフレーム	76
フラッシュモード*	78
フラッシュレベル	78
赤目軽減	79

画像再生設定（79ページ）

項目	ページ
日時/データ表示	79
表示枚数	80

音/画面設定**（81ページ）

項目	ページ
音量*	81
操作音*	81
パネル明るさ	81
パネルBLレベル	81
パネル色の濃さ	81
VFバックライト	81

出力設定（82ページ）

項目	ページ
TVタイプ	43
画面表示出力	82

時計設定（82ページ）

項目	ページ
日時あわせ*	21
エリア設定	82
サマータイム	82

一般設定（83ページ）

項目	ページ
デモモード	83
キャリブレーション	114
自動電源オフ	83
クイック オン時間	83
リモコン	83

* かんたん操作（30ページ）中に設定できる項目です。

** かんたん操作（30ページ）中は［音設定］になります。

動画撮影設定
(動画を撮影するときの設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
(ホームメニュー)→73ページ
(オプションメニュー)→84ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

録画モード

動画を撮影するときの画質を選べます。

HQ(HQ)
高画質で録画する。(9M(HQ))

▶SP(SP)
標準画質で録画する。(6M(SP))

LP(LP)
長時間録画する。(3M(LP))

ご注意
- LPモードで録画した動画を再生すると、動きの速い映像などでは画像の細部が粗くなることがあります。

ちょっと一言
- 各モードの録画時間の目安は、11、29ページをご覧ください。
- メディアごとに設定ができます(25ページ)。

オーディオモード

録画時の音声フォーマットを変更できます。

▶5.1chサラウンド(♪5.1ch)
5.1chサラウンド音声で記録する。

2chステレオ(♪2ch)
2chステレオ音声で記録する。

NIGHTSHOT ライト

NightShot plus(36ページ)や[S.NIGHTSHOT PLS](89ページ)撮影時に赤外線を発光するライトで、よりはっきりとした画像を記録できます。お買い上げ時は[入]に設定されています。

ご注意
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください(125ページ)。
- コンバージョンレンズ(別売り)ははずしてください。
- ライトが届く範囲は約3メートルです。

ワイド切換

つなぐテレビの画面の横縦比に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

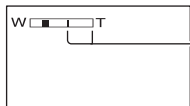
▶16:9 ワイド
ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3()
4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ご注意
- 再生時に接続するテレビに合わせて[TVタイプ]を正しく設定してください(43ページ)。

次のページへつづく→

デジタルズーム

撮影時に、25倍光学ズームを超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。

▶**切**
25倍光学ズームのみ

50×
25倍光学ズーム＋最大50倍までのデジタルズーム

2000×
25倍光学ズーム＋最大2,000倍までのデジタルズーム

手ブレ補正

手ブレ補正を使って撮影できます。三脚を利用するときは、[切]（ ）に設定すると自然な画像になります。お買い上げ時は[入]に設定されています。

オートスロシャッタ（オートスローシャッター）

暗い場所で撮影するときに自動的に1/30までシャッタースピードが遅くなります。お買い上げ時は[入]に設定されています。

ガイドフレーム

[入]に設定すると、フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。フレームは記録されません。DISP/BATT INFOボタンを押すと、フレームを消せます。お買い上げ時は[切]に設定されています。

ちょっと一言
- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

残量表示設定

▶**入**
メディア残量を常に表示する。

オート
次のときにメディア残量を約8秒間表示する。
– （動画）ランプ点灯時にメディア残量を認識したとき
– （動画）ランプを点灯させた状態で、DISP/BATT INFOボタンを押して画面表示を非表示→表示に切り換えたとき
– ホームメニューで動画撮影画面に切り換えたとき

ご注意
- 動画の撮影可能時間が5分以下になったときは、常に表示されます。

プレーヤ用日付記録

本機で記録したディスクを、字幕表示機能に対応した機器などで再生するとき、撮影時の日付時刻を表示させることができます。お買い上げ時は[入]に設定されています。再生機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
- 内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"の場合は、[プレーヤ用日付記録]を設定できません。

インデックス設定

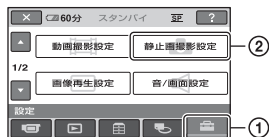
動画記録時に顔部分を自動的に検出します。お買い上げ時は[入]に設定されています。

顔アイコンの状態

：設定が[入]のとき。
：顔を検出したときに点滅。登録が完了すると点灯。
：登録できないとき。

(フェイス)インデックスで再生するには、40ページをご覧ください。

ご注意

- ひとつの動画で顔検出ができる数には限りがあります。

静止画撮影設定
(静止画を撮影するときの設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は

(ホームメニュー)→73ページ
(オプションメニュー)→84ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

画像サイズ

▶1.0M(1.0M 1152×864)
鮮明な画像を4:3で撮影する。

0.7M(0.7M 1152×648)
鮮明な画像をワイド(16:9)で撮影する。

VGA(0.3M)(VGA 640×480)
たくさんの画像を4:3で撮影する。

ご注意

- ワイド(16:9)で撮影した静止画をお店でプリントするときは、注文時に「ハイビジョンサイズ」とご指定ください。ご指定がない場合、画像の左右が切れてプリントされることがあります。

内蔵メモリーの撮影可能枚数

最大で9,999枚まで静止画を撮影できます。枚数は撮影環境によって変わります。

本機の設定を変える

“メモリースティック PRO デュオ”の撮影可能枚数の目安（枚）

	1.0M 1152×864
512MB	880
1GB	1800
2GB	3700
4GB	7200
8GB	14500

ご注意

- ソニー製“メモリースティック PRO デュオ”使用時。枚数は、撮影環境や“メモリースティック”の種類によって異なることがあります。

ちょっと一言

- 静止画撮影には、容量256MB以下の“メモリースティック PRO デュオ”も使えます。
- 撮影可能枚数は、本機での最大画像サイズの枚数のみ記載しています。実際の撮影可能枚数は、静止画を撮影中の液晶画面でご確認ください（127ページ）。

ファイルナンバー

▶連番
“メモリースティック PRO デュオ”を取り替えてもファイル番号を連続して付ける。

リセット
“メモリースティック PRO デュオ”ごとにファイル番号を付ける。

NIGHTSHOT ライト

75ページをご覧ください。

ガイドフレーム

76ページをご覧ください。

フラッシュモード

本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）を使って静止画を撮影するときに設定します。

▶入（⚡）
周囲の明るさに関係なく、常に発光する。

オート
光量が足りない場合、自動的に発光する。

ご注意

- フラッシュ表面の汚れは取り除いてください。光による熱で汚れが変色、貼り付くなどして、フラッシュが充分な量を発光できなくなることがあります。
- 逆光時や明るい場所では、強制発光を行ってもフラッシュ効果が得られにくいことがあります。

フラッシュレベル

本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）を使って静止画を撮影するときに設定します。

明るい（⚡+）
発光量が増える。

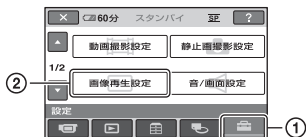
▶ノーマル（⚡）

暗い（⚡–）
発光量が減る。

赤目軽減

本機に対応している外付けフラッシュ（別売り）を使って静止画を撮影するときに設定します。
［入］に設定して、［フラッシュモード］（78ページ）を［オート］、または［入］に設定すると👁が表示されます。フラッシュ発光するとき予備発光し、撮影時に目が赤く光るのを抑制します。

ご注意

- 赤目軽減で撮影しても、効果が現れにくいことがあります。

画像再生設定（表示内容の設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は

🏠（ホームメニュー）→73ページ
⊕≡（オプションメニュー）→84ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

日時/データ表示

撮影時に自動的に記録された情報（日付時刻データやカメラデータ）を再生時に確認できます。

▶切

日付時刻データやカメラデータを表示しない。

日付時刻データ

記録した画像の日付・時刻データを表示する。

カメラデータ

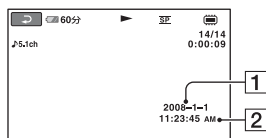
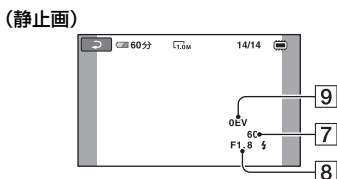
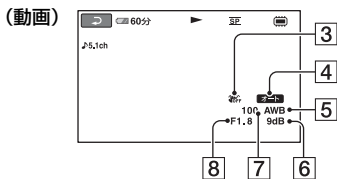
記録した画像のカメラデータを表示する。

日付時刻データ

1 日付
2 時刻

カメラデータ

（動画）

（静止画）

3 手ブレ補正切
4 明るさ調節
5 ホワイトバランス
6 ゲイン
7 シャッタースピード
8 絞り値
9 露出

- 次の場合は ⚡ が表示されます。
  - 本機で別売りのフラッシュを使って撮影した静止画
  - 他機でフラッシュを使って撮影した静止画
- 本機をテレビにつなぐとテレビ画面にも表示されます。
- リモコンのDATA CODEボタンを押すと、[日付時刻データ]→[カメラデータ]→[切]（表示なし）と切り換わります。
- メディアの状態によっては、[-- -- --]と表示されます。

表示枚数

ビジュアルインデックス画面やプレイリスト画面に表示するサムネイルの枚数を設定します。

サムネイル☞用語集（129ページ）へ

▶ズーム連動

本機のズームレバーを動かすと6枚表示と12枚表示が切り換わる。*

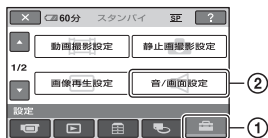
6枚

常に6枚のサムネイルを表示する。

12枚

常に12枚のサムネイルを表示する。

* 液晶画面横のズームボタン、リモコンのズームボタンでも操作できます。

音/画面設定(操作音やパネルの設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

➡ 設定方法は
(ホームメニュー)→73ページ
(オプションメニュー)→84ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

音量

[－]/[＋]をタッチして調節します。
39ページをご覧ください。

操作音

▶入
撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

切
操作音、シャッター音を出さない。

パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。

① [－]/[＋]で調節する。
② [OK]をタッチする。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

パネルBLレベル

液晶画面のバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル
通常の設定(標準の明るさ)。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意
- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]に設定すると、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。
- 液晶画面を180度回転させ、外側に向けて閉じた状態で使うと、設定は自動的に[ノーマル]になります。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

パネル色の濃さ

[－]/[＋]で液晶画面の濃さを調節できます。

薄くなる　　濃くなる

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

VFバックライト

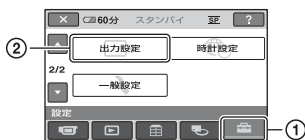
ファインダーのバックライトの明るさを調節できます。

▶ノーマル
通常の設定(標準の明るさ)。

明るい
ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意
- ACアダプターにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]に設定すると、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

ちょっと一言
- 録画される画像に影響ありません。

出力設定(他の機器とつないだときの設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、/をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
(ホームメニュー)→73ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

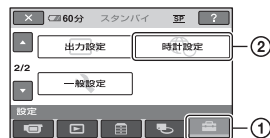
TVタイプ

43ページをご覧ください。

画面表示出力

▶パネル
カウンターなどの画面表示を液晶画面やファインダーに出す。

ビデオ出力/パネル
画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

時計設定(時刻などの設定)

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、/ をタッチして画面を移動します。

▶ 設定方法は
(ホームメニュー)→73ページ

日時あわせ

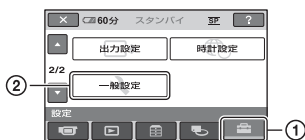
21ページをご覧ください。

エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。
海外で使用するときは、/で使用する地域を選び、現地時刻に合わせます。「世界時刻表」(108ページ)をご覧ください。

サマータイム

時計を止めることなく設定を変更できます。
[入]に設定すると、時計が1時間進みます。

一般設定（その他の設定）

①→②の順にタッチする。
希望の項目が画面にないときは、▲/▼をタッチして画面を移動します。

設定方法は
（ホームメニュー）→73ページ

▶はお買い上げ時の設定です。

デモモード

電源を入れて（動画）ランプを点灯させると、約10分後に本機の機能のデモンストレーションを見ることができます。お買い上げ時は［入］に設定されています。

ちょっと一言
- 次のいずれかを行うと、デモンストレーションを中断できます。
  - START/STOPボタンを押す
  - DUBBINGボタンを押す
  - デモンストレーション中に画面をタッチする（約10分後に再開します）
  - ディスクカバーOPENスイッチをずらす
  - POWERスイッチで静止画撮影モードに切り換えたとき
  - （ホーム）ボタン/（画像再生）ボタンを押す

キャリブレーション

114ページをご覧ください。

自動電源オフ

▶5分後
何も操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れる。

なし
自動的に電源は切れない。

ご注意
- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に［なし］になります。

クイック オン時間

スリープモード中に電源が切れるまでの時間を設定します。お買い上げ時は［10分後］に設定されています。

ご注意
- スリープモード（36ページ）中は、［自動電源オフ］の設定は無効になります。

リモコン

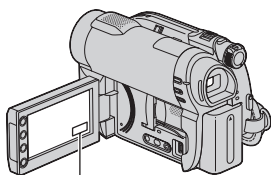
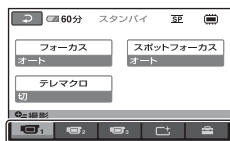
付属のワイヤレスリモコンの設定をします。お買い上げ時は［入］に設定されています。

ちょっと一言
- ［切］に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

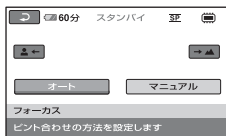
オプションメニューで設定する

パソコンの右クリックのような役割がオプションメニューです。そのときに設定できるさまざまな機能が表示されます。

設定のしかた

1 本機を使用中に、画面の（オプション）ボタンをタッチする。

（オプション）ボタン

タブ

2 希望の項目をタッチする。

画面にないときは、他のタブをタッチして、表示させます。

他のタブをタッチしても見つからないときは、その機能は使えません。

3 希望の設定にして、OK をタッチする。

ご注意

- 表示されるタブや項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- タブが表示されない場合もあります。
- かんたん操作（30ページ）中は、オプションメニューは使えません。

撮るときなどのオプションメニュー

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
フォーカス	–	86
スポットフォーカス	–	86
テレマクロ	–	86
カメラ明るさ	–	87
スポット測光	–	87
シーンセレクション	–	87
ホワイトバランス	–	88
COLOR SLOW SHTR	–	89
S.NIGHTSHOT PLS	–	89

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
フェーダー	–	89
デジタルエフェクト	–	89
P.エフェクト	–	89

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
録画モード	○	75
内蔵ズームマイク	–	90
マイク基準レベル	–	90
画像サイズ	○	77
セルフタイマー	–	90
フラッシュモード	○	78

見るときなどのオプションメニュー

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
削除*	○	46
日付指定削除*	○	46
全削除*	○	46

項目	ホームにもある項目	ページ
タブ		
分割	○	52
消去*	○	55
全消去*	○	55
移動*	○	55

項目	ホームにもある項目	ページ
ーー(状況によってタブが変わる/タブなし)		
へ追加*	○	53
へ日付指定追加*	○	54
へ全追加*	○	54
印刷	○	59
スライドショー	–	42
音量	○	81
日時/データ表示	○	79
スライドショー設定	–	42
印刷部数	–	59
日付/時刻	–	59
用紙サイズ	–	59
DVDメニュー	–	64

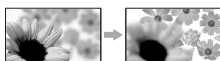
* ホームメニューからも操作できますが、メニュー名は異なります。

オプションメニューで設定する機能

ここではオプションメニューからのみ設定できる機能について説明します。

▶はお買い上げ時の設定です。

フォーカス

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。

① [マニュアル]をタッチする。
　が表示されます。

② 近くにピント合わせ/遠くにピント合わせをタッチしてピントを調節する。
　それ以上近くにピントを合わせられないときはが、それ以上遠くにピントを合わせられないときはが表示されます。

③ [OK]をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[OK]をタッチする。

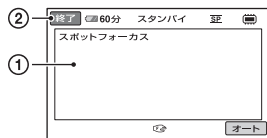
ご注意

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

ちょっと一言

- ピントは、始めにズームをT側(望遠)にしてピントを合わせてから、W側(広角)に戻していくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します)を数秒間表示します。(別売りのコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。)
  – ピントを合わせる設定を自動から手動に切り換えたとき
  – フォーカスを手動調節したとき

スポットフォーカス

画面中央からはずれた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。

① 画面枠内の被写体にタッチする。
　が表示されます。

② [終了]をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- スポットフォーカス中は、[フォーカス]の設定が自動的に[マニュアル]になります。

テレマクロ

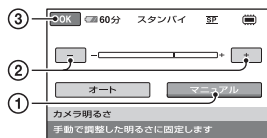
背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。
[入](T)に設定するとズーム(35ページ)が自動で望遠(T側)になり、約38cmまでの近接撮影ができます。

解除するには、[切]に設定する、またはズームを広角(W側)にする。

ご注意

- 被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([フォーカス]、86ページ)。

カメラ明るさ

画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり、暗すぎたりするときなどに調節します。

① [マニュアル]をタッチする。

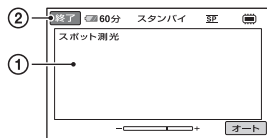
-▭+ が表示されます。

② [−]/[+]で明るさを調節する。

③ [OK]をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[OK]をタッチする。

スポット測光(フレキシブルスポット測光)

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。

① 画面枠内の撮影するポイントをタッチする。

-▭+ が表示されます。

② [終了]をタッチする。

自動調節に戻すには、手順①で[オート]→[終了]をタッチする。

ご注意

- フレキシブルスポット測光中は、[カメラ明るさ]の設定は自動的に[マニュアル]になります。

シーンセレクション

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶オート

シーンセレクションを使わずに、自動的に効果的な画像になる。

夜景*（ ）

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。

キャンドル（ ）

キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮影できる。

日の出＆夕焼け*（ ）

日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。

打ち上げ花火*（ ）

打ち上げ花火をきれいに撮影する。

風景*（ ）

遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。

ソフトポートレート（ ）

背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

スポットライト（ ）**

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。

本機の設定を変える

次のページへつづく→

スポーツレッスン（ ）**
動きの速い被写体のぶれを小さくする。

ビーチ（ ）**
海や湖畔など水の青さを鮮やかに撮影できる。

スノー（ ）**
ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗くなるのを防ぎ、明るくする。

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。
** 近くのものにピントが合わないように設定されます。

ご注意
- ［シーンセレクション］を設定すると、［ホワイトバランス］の設定が解除されます。

ホワイトバランス

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

▶**オート**
自動調節される。

屋外（ ）
次の撮影環境に合った色合いになる。
– 屋外
– 夜景やネオン、花火など
– 日の出、日没など
– 昼光色蛍光灯の下

屋内（ ）
次の撮影環境に合った色合いになる。
– 屋内
– パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
– スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ワンプッシュ（ ）
光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

① ［ワンプッシュ］をタッチする。
② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
③ ［ ］をタッチする。
 が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節されます。終わると点灯に変わります。

ご注意
- 白色や昼白色の蛍光灯下では、［オート］に設定するか、［ワンプッシュ］の手順で色合いを調節してください。
- ［ワンプッシュ］設定時の の速い点滅中は、白いものを映し続けてください。
- ［ワンプッシュ］を設定できなかった場合は、 がゆっくり点滅します。
- ［ワンプッシュ］設定中、OK をタッチしても が点滅する場合は、［オート］に設定してください。
- ［ホワイトバランス］を設定すると、［シーンセレクション］の設定が［オート］になります。

ちょっと一言
- ［オート］でバッテリーを交換したときや、屋内外を行き来したときは、白っぽい被写体に向けて［オート］で約10秒間撮影すると、よりよい色合いになります。
- ［ワンプッシュ］設定中に、［シーンセレクション］の効果を変えたり、屋内外を行き来したときは、再び［ワンプッシュ］の手順を行ってください。

COLOR SLOW SHTR (Color Slow Shutter)

薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。
［COLOR SLOW SHTR］を［入］に設定すると、[◙] が表示されます。

解除するには、［切］に設定する。

ご注意

- ピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせてください（［フォーカス］、86ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

S.NIGHTSHOT PLS (Super Nightshot plus)

暗い場所でNightShotの最大16倍の感度で撮影できます。
設定するには、あらかじめNIGHTSHOTスイッチ(36ページ)を「ON」にした状態で［S.NIGHTSHOT PLS］を［入］に設定するとS◉ が表示されます。

解除するには、［切］に設定する。

ご注意

- 明るい場所で使うと故障の原因になります。
- 赤外線発光部を指などで覆わないでください（125ページ）。
- コンバージョンレンズ（別売り）ははずしてください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください（［フォーカス］、86ページ）。
- シャッタースピードが明るさによって変わるため、画像の動きが遅くなることがあります。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中（フェードインのとき）、または撮影中（フェードアウトのとき）に使いたい効果を選んで OK をタッチする。
② START/STOPボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消えます。

操作開始前に解除するには、①で［切］をタッチする。
1度START/STOPボタン押すと設定は解除されます。

フェードアウト　　フェードイン

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

デジタルエフェクト

［オールドムービー］に設定すると[D✦]が表示され、昔の映画のような画像で撮影できます。

解除するには、［切］に設定する。

P.エフェクト(ピクチャーエフェクト)

特殊効果を加えて撮影できます。[P✦]が表示されます。

▶切
ピクチャーエフェクトを使わない。

本機の設定を変える

次のページへつづく➡

セピア
古い写真のような画像。

モノトーン
白黒の画像。

パステル
淡い色の画像。

内蔵ズームマイク

[入]( )に設定すると、ズームと連動して指向性のある音声を録音できます。お買い上げ時は[切]に設定されています。

マイク基準レベル

録音時のマイクレベルを選べます。
演奏会などで、臨場感のある音を録音したいときは[低]に設定します。

▶**標準**
周囲の音を一定のレベル内におさめて録音する。

低( )
周囲の音を忠実に録音する。(日常の会話の録音などには適していません。)

セルフタイマー

[入]に設定すると が表示されます。
PHOTOボタンを押すとカウントダウンが始まり、約10秒後に静止画を撮影します。
撮影を中止するには、[リセット]をタッチする。
解除するには、[切]に設定する。

ちょっと一言
- リモコンのPHOTOボタンでも操作できます(126ページ)。

Windowsパソコンでできること

付属のCD-ROMからWindowsパソコンに、「Picture Motion Browser」をインストールすると、次のような操作を楽しむことができます。

■ 本機で記録した画像をパソコンに取り込む

■ 取り込んだ画像を閲覧する

■ DVDを作成する

■ ディスクのコピー → Video Disc Copier

「Picture Motion Browser」の詳しい機能については、「PMB ガイド」(93ページ)をご覧ください。

■ Macintoshをお使いのときは

付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」はMacintoshに対応していません。
本機とMacintoshを接続して画像を扱う方法について詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://guide.d-imaging.sony.co.jp/mac/ms/jp

ソフトウェアをインストールする

■ 「Picture Motion Browser」を使うときのパソコン環境

対応OS： Microsoft Windows 2000 Professional SP4/Windows XP SP2*/Windows Vista*

* 64bit版は除きます。

上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: Intel Pentium III 1GHz以上

必要なソフトウェア：
DirectX 9.0c以降（DirectXテクノロジに対応しておりますので、ご使用の際はDirectXが組み込まれている必要があります。）

サウンドカード：
Direct Sound対応のサウンドカード

メモリー：
256MB以上

ハードディスク：
インストールに必要なハードディスク容量：約500MB（DVDの作成には、5GB以上必要になることがあります。）

ディスプレイ： 解像度 1,024×768ドット以上

その他必要な装置： USB端子標準装備（Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）対応を推奨）、DVD作成が可能なディスクドライブ（インストールにはCD-ROMドライブが必要）

ご注意

- 上記以外に、各OSが求める動作環境を満たしていることが必要です。
- 動作保証されているパソコン環境でも、画像がコマ落ちしてなめらかに再生できない場合があります。取り込んだ画像や作成するディスクの画質には影響ありません。

- すべてのパソコン環境についての動作を保証するものではありません。例えば、バックグランドで動作している他のソフトウェアが動作に影響を与える場合があります。
- 「Picture Motion Browser」は5.1ch音声の再生に対応しておりません。2ch音声の再生になります。
- パソコンによっては、8cmメディア(DVD+R DLなど)を扱えない場合があります。
- ノートパソコンをご使用の場合、パソコンをACアダプターにつないでご使用ください。パソコンの省電力機能により、正常に動作しない場合があります。
- 画像を記録した"メモリースティック PRO デュオ"は、パソコンのメモリースティック スロットからも読み込むことができます。
  ただし、次の場合は、メモリースティック スロットを使わずに、本機とパソコンをUSBケーブルでつないで操作してください。
  – パソコンが"メモリースティック PRO デュオ"に対応していないとき
  – メモリースティック デュオ アダプターが必要なとき
  – パソコンが"メモリースティック PRO デュオ"を認識しないとき
  – データの読み取り速度が遅いとき

■ インストール手順

本機をパソコンにつなぐ前に、ソフトウェアをインストールします。1度インストールすれば、次回からインストールは不要です。
パソコンのOSによってインストールする内容や手順が異なります。

① パソコンに本機がつながれていないことを確認する。

② パソコンの電源を入れる。

ご注意
- Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

③ パソコンのディスクドライブにCD-ROM(付属)をセットする。
インストール画面が表示されます。

インストール画面が表示されないときは

❶ [スタート]→[マイ コンピュータ]の順にクリックする。(Windows 2000の場合は、[マイ コンピュータ]をダブルクリックする。)

❷ [SONYPICTUTIL (E:)](CD-ROM)*をダブルクリックする。

*ドライブ文字((E:)など)は、使うパソコンによって異なることがあります。

④ [インストール]をクリックする。

⑤ [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

⑥ 接続の確認画面が表示されるので、次の手順で本機とパソコンをつなぐ。

❶ ACアダプターを本機とコンセントにつなぐ。

❷ 本機の電源を入れる。

❸ USBケーブルで本機の ψ(USB)端子(123ページ)とパソコンのUSB端子をつなぐ。

❹ 本機の画面で[USB接続]をタッチする。

⑦ [続行]をクリックする。

⑧ [使用許諾契約]の内容をよく読み、同意される場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする。

⑨ インストールの設定を確認し、[インストール]をクリックする。

ご注意

- パソコンの再起動を求める画面が表示されることがありますが、ここではパソコンを再起動する必要はありません。[いいえ]を選んで、インストールを続けてください。
- 認証には時間がかかる場合があります。

⑩ 以降、パソコンの画面の指示に従ってインストールを進める。
お使いのパソコン環境によっては、次のソフトウェアのインストール画面が表示される場合があります。画面の指示に従ってインストールしてください。
– i-Jumpエンジン V3.6
画像を携帯電話やパソコンに送ることができるソフトウェア
– Sonic UDF Reader*
DVD-RW(VRモード)のディスクを認識するために必要なソフトウェア
– Windows Media Format 9 Series Runtime (Windows 2000のみ)
DVD作成に必要なソフトウェア
– Microsoft DirectX 9.0c*
動画を扱うために必要なソフトウェア

* Windows 2000、Windows XPのみ

⑪ パソコンの再起動を求める画面が表示されたら、画面の指示に従ってパソコンを再起動する。

これでインストールは完了です。

⑫ パソコンからCD-ROMを取り出す。

■「Picture Motion Browser」の操作について

- 「Picture Motion Browser」を起動するには、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Sony Picture Utility]－[PMB - Picture Motion Browser] をクリックします。
- 「Picture Motion Browser」の基本的な操作方法は「PMB ガイド」に記載されています。「PMB ガイド」を表示するには、[スタート]－[すべてのプログラム]－[Sony Picture Utility]－[ヘルプ] －[PMB ガイド]をクリックします。

■ 本機とコンピュータのつなぎかた

コンピュータへ画像の取り込みなどをするときは、次の手順で本機とコンピュータをつないでください。

① ACアダプターを本機とコンセントにつなぐ。

② 本機の電源を入れる。

③ USBケーブルで本機の(USB)端子(123ページ)とコンピュータのUSB端子をつなぐ。
本機の画面に[USB機能選択]画面が表示されます。画面に表示されるボタンの中から、操作したいものを選んでタッチします。

ちょっと一言

- [USB機能選択]画面が表示されないときは、(ホーム)→(その他の機能)→[USB接続]をタッチして表示させてください。

推奨するUSBケーブルのつなぎかた

本機を正しく動作させるためには、次のようにつないでください。

- コンピュータのUSB端子には本機以外何もつながない。
- USBキーボードとマウスが標準でついているコンピュータの場合、キーボードをUSB端子につないだ状態で、本機をUSBケーブルで別のUSB端子につなぐ。

ご注意

- 1台のコンピュータに複数のUSB機器をつないだ場合の動作は保証していません。
- USBケーブルは必ずUSB端子につないでください。キーボードやUSBハブを経由してつないだ場合の動作は保証していません。

次のページへつづく→

USBケーブルを抜くには

① パソコン画面の右下にあるタスクトレイの中の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックする。

② ［USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します］をクリックする（Windows Vistaの場合は［USB大容量記憶装置を安全に取り外します］）。

③ ［OK］をクリックする（Windows 2000の場合のみ）。

④ 本機の画面上の［終了］をタッチする。

⑤ 本機の画面上の［はい］をタッチする。

⑥ USBケーブルをパソコンから抜く。

ご注意

- 本機のACCESSランプ/アクセスランプが点灯中はUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機の電源を切るときは、上記の手順に従ってUSBケーブルを抜いてから電源を切ってください。
- 正しい手順でUSBケーブルを抜かないと、操作したメディア内のファイルが正しく更新されない場合があります。また、操作したメディアの故障の原因にもなります。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口（裏表紙）にお問い合わせください。

全体操作/かんたん操作/リモコン

電源が入らない。

- 充電されたバッテリーを取り付けてください（18ページ）。
- ACアダプターをコンセントに差し込んでください（18ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源を入れてから撮影が可能になるまで数秒かかりますが、故障ではありません。
- 電源（バッテリーまたはACアダプターの電源コード）を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直してください。それでも操作できないときは、RESETボタン（123ページ）を先のとがったもので押してください（すべての設定が解除されます）。
- 本機の温度が著しく高くなっています。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置してください。

ボタンが操作できない。

- かんたん操作（30ページ）中は次のボタン/機能は使えません。
  - 液晶画面バックライトの切り換え（23ページ）
  - ☒（逆光補正）ボタン（36ページ）
  - 再生ズーム（42ページ）
  - DUBBINGボタン（49ページ）

⊕☰（オプション）ボタンが表示されない。

- かんたん操作（30ページ）中はオプションメニューは使えません。

メニュー項目の設定が変わっている。

- かんたん操作（30ページ）中、ほとんどのメニュー項目はお買い上げ時の設定に自動で戻ります。
- かんたん操作（30ページ）中、次のメニュー項目の設定は固定されます。
  - 動画の録画モード：[SP]
  - [日時/データ表示]：[日付時刻データ]
  - DVD-RWの記録フォーマット：[VIDEO]
- 次のメニュー項目は、電源を「OFF（CHG）」にして12時間以上経つと自動的にお買い上げ時の設定に戻ります。
  - [DVDメニュー]
  - [フォーカス]
  - [スポットフォーカス]
  - [カメラ明るさ]
  - [スポット測光]
  - [シーンセレクション]
  - [ホワイトバランス]
  - [COLOR SLOW SHTR]
  - [S.NIGHTSHOT PLS]
  - [内蔵ズームマイク]
  - [マイク基準レベル]

EASYボタンを押してもメニュー設定が自動に切り換わらない。

- 次のメニュー項目はかんたん操作（30ページ）前の設定が保持されます。
  - [動画メディア設定]

次のページへつづく➡

– ［静止画メディア設定］
– ［オーディオモード］
– ［ワイド切換］
– ［プレーヤ用日付記録］
– ［ インデックス設定］
– ［画像サイズ］
– ［ファイルナンバー］
– ［フラッシュモード］
– ［ 表示枚数］
– ［音量］
– ［操作音］
– ［TVタイプ］
– ［日時あわせ］
– ［エリア設定］
– ［サマータイム］
– ［デモモード］

本機が振動する。

- ディスクの状態によっては本機が振動することがあります。故障ではありません。

振動が手に感じられる、または操作中にかすかな音が聞こえる。

- 故障ではありません。

ディスクを入れずにディスクカバーを閉じたときに内部でモーター音が聞こえる。

- ディスクの有無を認識しているためで、故障ではありません。

本機があたたかくなる。

- 長時間電源を入れたままにしたためで、故障ではありません。本機の電源を切り、涼しい場所でしばらく放置してください。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- ［リモコン］を［入］に設定してください（83ページ）。
- 電池の＋極と－極を正しく入れてください（126ページ）。
- リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除いてください。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。

リモコン操作中に他のDVD機器が誤動作する。

- DVD機器のリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

バッテリー/電源

電源が途中で切れる。

- お買い上げ時の設定では、操作しない状態が約5分以上続くと、自動的に電源が切れます（自動電源オフ、83ページ）。［自動電源オフ］の設定を変更するか、もう一度電源を入れてください、またはACアダプターを使用してください。
- スリープモード中に［クイック オン時間］（83ページ）で設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。もう一度電源を入れてください。
- バッテリーを充電してください（18ページ）。

バッテリーの充電中、CHG（充電）ランプが点灯しない。

- POWERスイッチを「OFF（CHG）」にしてください（18ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直してください（18ページ）。
- コンセントにプラグを正しく差し込んでください。
- すでに充電が完了しているためです（18ページ）。

バッテリーの充電中、CHG（充電）ランプが点滅する。

- バッテリーを正しく取り付け直してください（18ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントから

プラグを抜き、ソニーの相談窓口にお問い合わせください(裏表紙)。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直してください。それでも正しく表示されないときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(18ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。

バッテリーの消耗が速い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直してください。それでも消耗が速いときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください(18ページ)。

液晶画面/ファインダー

メニュー項目が灰色で表示され、選択できない。

- その項目は選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります(103ページ)。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチしてください。
- DISP/BATT INFOボタン(またはリモコンのDISPLAYボタン)を押してください(23、126ページ)。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- タッチパネルを調節(キャリブレーション)してください(114ページ)。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- ファインダーを引き出して、視度調整つまみを動かしてください(23ページ)。

ファインダーの画像が消えている。

- 液晶画面を開いているとファインダーには画像は映りません(23ページ)。

メディア

ディスクが取り出せない。

- 電源(バッテリーやACアダプター)が正しく接続されているか確認してください(18ページ)。
- ディスクに傷がある、または指紋などで汚れています。この場合は取り出しに最大10分程度かかることがあります。
- 本機の温度が著しく上昇しています。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置してください。
- ファイナライズ中に本機の電源を切ったためです。電源を入れ、ファイナライズを終了させてください(64ページ)。

ディスクの画像を削除できない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100個までしか選択できません。
- 次の場合、ディスクに記録した動画を削除できません(46ページ)。
  - DVD-R/DVD+R DLに記録したすべての動画
  - DVD-RWにVIDEOモードで記録した撮影直後以外の動画
  - DVD+RWに記録した撮影直後以外の動画

ディスク表示、記録フォーマット表示が灰色で表示される。

- 本機以外で作成されたディスクの可能性があります。本機で再生はできますが、追加記録はできません。

次のページへつづく➡

- 本機に対応していないディスクが入っています。
- ディスクを認識できなかった可能性があります。

"メモリースティック PRO デュオ"を入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット（初期化）した"メモリースティック PRO デュオ"を入れている場合は、本機で初期化し直してください（67ページ）。

"メモリースティック PRO デュオ"の画像を消去できない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100個までしか選択できません。
- 他機でプロテクトをかけた画像は削除できません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れています。
- 本機で対応しているファイル形式を使ってください（109ページ）。

撮影

「メディア」（97ページ）もご覧ください。

START/STOPボタンやPHOTOボタンを押しても撮影できない。

- 再生画面になっています。撮影画面にしてください（33ページ）。
- スリープモード中は撮影できません。QUICK ONボタンを押してスリープモードを解除してください（36ページ）。
- 直前に撮影した画像をメディアに書き込んでいます。書き込んでいる間は、新たに撮影できません。
- メディアの空き容量がありません。初期化する（内蔵メモリー/DVD-RW/DVD+RW/"メモリースティック PRO デュオ"のみ）（67ページ）か、不要な画像を削除してください（46ページ）。または、新しいディスク、"メモリースティック PRO デュオ"を入れてください。
- ファイナライズ済みの次のディスクを使っているときは、追加記録可能な状態にしてください（69ページ）、または新しいディスクを入れてください。
  – DVD-RW（VIDEOモード）
  – DVD+RW
- 本機の温度が著しく上昇しています。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置してください。
- 結露しています。電源を切り、約1時間放置してください（114ページ）。
- 静止画の枚数が本機で撮影できる上限を超えています（77、78ページ）。不要な静止画を削除してください（46ページ）。

静止画を撮影できない。

- 本機では、ディスクに静止画を記録することはできません。

撮影を止めてもACCESS/アクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメディアに書き込んでいます。

画角が異なって見える。

- 本機の状態により画角が異なって見えることがあります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなどの撮影環境によっては録画可能時間が短くなります。

録画が止まる。

- 本機の温度が著しく高くなっています。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置してください。
- 結露しています。電源を切り、約1時間放置してください(114ページ)。

START/STOPボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、START/STOPボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

動画の横縦比(ワイド/4:3)が切り換えられない。

- 次の場合は動画の横縦比を切り換えられません。
  – [動画メディア設定]を[ディスク]に設定しているとき、DVD+RWを使っている、またはディスクが入っていない。
  – [動画メディア設定]を[メモリースティック]に設定しているとき、"メモリースティック PRO デュオ"が入っていない。

オートフォーカスができない。

- [フォーカス]を[オート]に設定してください(86ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせてください(86ページ)。

手ブレ補正ができない。

- [手ブレ補正]を[入]に設定してください(76ページ)。
- [手ブレ補正]が[入]に設定されていても、手ブレが大きすぎると補正しきれないことがあります。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- [S.NIGHTSHOT PLS]、[COLOR SLOW SHTR]のときに出る現象で、故障ではありません。

画像の色が正しくない。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチを「OFF」に設定してください(36ページ)。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチを「OFF」に設定してください(36ページ)。

画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISP/BATT INFOボタンを数秒間押したままにして液晶画面バックライトを点灯させてください(23ページ)。

画像がちらつく(フリッカー)。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。

暗い場所でキャンドルライトや照明を撮影すると縦帯が現れる。

- 被写体と背景のコントラストが強すぎるとこのような症状が現れることがあります。故障ではありません。

明るい被写体を撮影すると縦に尾を引いたような画像になる。

- これはスミア効果という現象です。故障ではありません。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [手ブレ補正]を[切]に設定してください(76ページ)。

次のページへつづく➡

[S.NIGHTSHOT PLS]ができない。

- NIGHTSHOT PLUSスイッチを「ON」に設定してください（36ページ）。

[COLOR SLOW SHTR]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、[COLOR SLOW SHTR]が正しく働かないことがあります。NightShot plusまたは[S.NIGHTSHOT PLS]で撮影してください。

[パネルBLレベル]を調節できない。

- 次のとき、[パネルBLレベル]は調節できません。
  – 液晶画面を外側に向けて本体に収めているとき
  – ACアダプターを使用しているとき

本機での再生

再生したい画像が見つからない。

- 再生したい画像のメディアを（ホーム）→（メディア管理）→[動画メディア設定]または[静止画メディア設定]から設定してください（25ページ）。

ディスクを再生できない。

- 本機に対応したディスクかどうか確認してください（10ページ）。
- 記録面を本機側に向けてディスクを装着してください（26ページ）。
- 他機で記録/初期化/ファイナライズしたディスクは、本機で再生できないことがあります。
- 本機の温度が著しく高くなっています。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置してください。

ディスクの画像が乱れる。

- 柔らかい布などでディスクをきれいにしてください（110ページ）。

"メモリースティック PRO デュオ"の画像を再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更したり、画像を加工すると、再生できない場合があります（静止画再生時はファイル名が点滅します）。故障ではありません（112ページ）。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません（112ページ）。

ビジュアルインデックスの画像に ? が表示される。

- データの読み出しに失敗した可能性があります。電源を入れ直したり、"メモリースティック PRO デュオ"を2、3回入れ直したりすると正しく表示される場合があります。
- 撮影直後のアクセスランプ点滅中に本機からACアダプターやバッテリーがはずされました。この操作をすると画像データが壊れて ? が表示されることがあります。
- 他機で撮影した静止画や、パソコンで画像加工した静止画などはこのように表示されることがあります。

ビジュアルインデックスの画像にが表示される。

- [管理ファイル修復]を実行してください（70ページ）。それでも消えない場合はマークが表示されている画像を削除してください（46ページ）。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくしてください（39ページ）。
- 液晶画面を閉じていると音声は出ません。液晶画面を開いてください。
- [マイク基準レベル]（90ページ）を[低]に設定して記録すると、音声が小さくなる場合があります。

他機でのディスク再生

再生できない、またはディスクが認識されない。

- 柔らかい布などでディスクをきれいにしてください(110ページ)。
- ディスクをファイナライズしてください(64ページ)。
- VRモードで記録したディスクを再生できない機器があります。再生機器の取扱説明書で、互換性を確認してください。

画像が乱れる。

- 柔らかい布などでディスクをきれいにしてください(110ページ)。

DVDメニューの画像に ? が表示される。

- ファイナライズ時にデータの読み出しに失敗した可能性があります。次のディスクのときは、追加記録可能な状態にし(69ページ)、再びファイナライズでDVDメニューを作成すると(64ページ)、正しく表示される場合があります。
  – DVD-RW(VIDEOモード)
  – DVD+RW

各場面のつなぎめで、再生画像が一瞬止まる。

- 再生する機器によっては、場面のつなぎめで再生画像が一瞬止まることがあります。故障ではありません。
- DVD+R DLの場合は、記録層が変わるときに再生画像が一瞬止まることがあります。故障ではありません。

⏮ ボタンを押しても、前の場面に移動しない。

- 本機で自動的に作成された2つのタイトルをまたぐと、⏮ ボタンを押しても前の場面に移動しないことがあります。メニュー画面から選んで移動してください。詳しくは再生機器の取扱説明書で確認してください。

パソコンや他の再生機器で再生すると、音声の左右のバランスが偏って聞こえる。

- 5.1chサラウンドで記録した音声を、パソコンや再生機器が2ch(通常のステレオ音声)に変換するときに起きることがあります(35ページ)。故障ではありません。
- 2chステレオの再生機器の場合は、音声変換の方式(ダウンミックス方式)を切り換えてください。詳しくは再生機器の取扱説明書をご覧ください。
- 付属のソフトウェア「Picture Motion Browser」を使ってディスクを作成するとき、設定を2chに変更してください。
- 撮影するときに本機の[オーディオモード]を[2ch]に設定してください(75ページ)。

画像を正しい横縦比で再生できない。

- ワイド(16:9)と4:3の動画を1枚のDVD+RWにダビングした場合、再生する機器によっては正しい横縦比で再生できないことがあります。故障ではありません。

他機での"メモリースティック PRO デュオ"再生

再生できない、または"メモリースティック PRO デュオ"が認識されない。

- 再生機器が"メモリースティック PRO デュオ"の再生に対応していません。

本機での編集

編集できない。

- 編集したい画像のメディアを (ホーム) → (メディア管理)→[動画メディア設定]または[静止画メディア設定]から設定してください(25ページ)。
- DVD-R/DVD+R DLに記録した動画は編集できません(10ページ)。

- 画像が記録されていません。
- 画像の状態により編集ができなくなっています。
- 他機でプロテクト（誤消去防止）された画像は編集できません。
- ディスクから内蔵メモリーや“メモリースティック PRO デュオ”への動画のダビングはできません。

プレイリストに追加できない。

- メディアの空き容量がありません。
- プレイリストには内蔵メモリーや“メモリースティック PRO デュオ”では99個、ディスクでは999個までしか動画を追加できません（53ページ）。不要な動画を削除してください（46ページ）。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

分割できない。

- 極端に記録時間の短い動画は分割できません。
- 他機でプロテクト（誤消去防止）をかけた動画は分割できません。

削除できない。

- 次の場合はディスクに記録した動画を削除できません（46ページ）。
  – DVD-R/DVD+R DLに記録したすべての動画
  – DVD-RWにVIDEOモードで記録した撮影直後以外の動画
  – DVD+RWに記録した撮影直後以外の動画
- ディスクの場合、かんたん操作（30ページ）中は動画を削除できません。
- 他機でプロテクト（誤消去防止）をかけた画像は削除できません。

動画から静止画を作成できない。

- 静止画を記録するメディアの容量が足りません（48ページ）。

ファイナライズができない。

- バッテリーではなく、ACアダプターを使用してください。
- ディスクがすでにファイナライズされているためです。次のディスクのときは、ディスクを追加記録可能な状態にしてください（69ページ）。
  – DVD-RW（VIDEOモード）
  – DVD+RW

[ファイナライズ解除]ができない。

- 次のディスクでは［ファイナライズ解除］はできません。
  – DVD-RW（VRモード）
  – DVD+RW
  – DVD-R
  – DVD+R DL

他の機器でディスクに追加記録や編集ができない。

- 本機で記録したディスクは、他の機器では追加記録や編集ができない場合があります。

他機との接続/ダビング

テレビにつないで再生するとき、音声が出ない。

- S映像プラグだけでつないでいるためです。S映像端子付きA/V接続ケーブル（別売り）の白と赤のプラグもあわせてつないでください（57ページ）。

4:3テレビにつないで再生するとき、正しい画像の横縦比で再生できない。

- [TVタイプ] をお使いのテレビに合わせて設定してください（43ページ）。

ダビングできない。

- A/V接続ケーブルが正しくつながれていません。他機の入力端子へつながれているか確認してください（57ページ）。

パソコンとの接続

「Picture Motion Browser」がインストールできない。

- パソコンの環境が対応しているか確認してください。
- 正しい手順でインストールしてください（91ページ）。

「Picture Motion Browser」が正しく動作しない。

- 「Picture Motion Browser」を終了し、パソコンを再起動してください。

本機がパソコンに認識されない。

- 「Picture Motion Browser」をインストールしてください（91ページ）。
- キーボードとマウス、本機以外で、パソコンのUSB端子につながれている機器を取りはずしてください。
- パソコンからUSBケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順（92ページ）でもう一度パソコンと本機をつないでください。
- パソコンのメディア監視ツールが起動していることを確認してください。メディア監視ツールについて詳しくは、「PMB ガイド」をご覧ください。

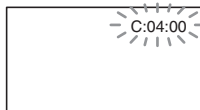
同時に使えない機能一覧

下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下を設定してあるため
逆光補正	［スポット測光］、［打ち上げ花火］、［カメラ明るさ］の［マニュアル］
［ワイド切換］	［オールドムービー］
［オートスロシャッタ］	［S.NIGHTSHOT PLS］、［シーンセレクション］、［COLOR SLOW SHTR］、［デジタルエフェクト］、［FADER］
［スポットフォーカス］	［シーンセレクション］
［テレマクロ］	［シーンセレクション］
［カメラ明るさ］	NightShot plus、［S.NIGHTSHOT PLS］
［スポット測光］	NightShot plus、［S.NIGHTSHOT PLS］
［シーンセレクション］	NightShot plus、［S.NIGHTSHOT PLS］、［COLOR SLOW SHTR］、［オールドムービー］、［テレマクロ］、［FADER］
［ホワイトバランス］	NightShot plus、［S.NIGHTSHOT PLS］
［COLOR SLOW SHTR］	NightShot plus、［デジタルエフェクト］、［シーンセレクション］、［FADER］
［S.NIGHTSHOT PLS］	［デジタルエフェクト］、［FADER］
［フェーダー］	［デジタルエフェクト］、［S.NIGHTSHOT PLS］、［COLOR SLOW SHTR］、［シーンセレクション］の［キャンドル］と［打ち上げ花火］
［デジタルエフェクト］	［S.NIGHTSHOT PLS］、［COLOR SLOW SHTR］、［フェーダー］、［シーンセレクション］、［P.エフェクト］
［P.エフェクト］	［オールドムービー］
［マイク基準レベル］	［内蔵ズームマイク］

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーには、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

C:(またはE:)□□:□□ (自己診断表示)

C:04:□□

- "インフォリチウム"Hシリーズ以外のバッテリーが使われています。必ず"インフォリチウム"Hシリーズバッテリーを使ってください(113ページ)。
- ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつないでください(18ページ)。

C:13:□□

- ディスクが不良です。本機に対応したディスクを入れてください(10ページ)。
- ディスクに汚れや傷があります。汚れている場合は柔らかい布などできれいにしてください(110ページ)。

C:32:□□

- 上記以外の症状になっています。ディスクを入れ直し、もう一度操作し直してください。
- 電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう一度操作し直してください。

E:20:□□ / E:31:□□ / E:61:□□ / E:62:□□ / E:91:□□ / E:94:□□

- 修理が必要なため、ソニーの相談窓口(裏表紙)にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-0001(ファイル関連の警告)

遅い点滅

- ファイルが壊れています。
- 扱えないファイルです。

(ディスク関連の警告)

遅い点滅

- ディスクが入っていません。*
- 動画撮影時にディスク残量が5分を切りました。
- 片面のディスクを裏表逆にしているため、読み出しや記録ができません。

速い点滅

- ディスクを認識できません。*
- 撮影画面で、ファイナライズ済みのディスクが入っています。
- ディスクの容量がいっぱいです。*
- (動画)ランプ点灯時に、本機と異なるテレビカラーシステムで記録されたディスクが入っています。*

⏏(ディスクを取り出す必要がある警告)*

速い点滅

- 本機では認識できないディスクが入っています。
- ディスクの容量がいっぱいです。
- 本機のディスクドライブに異常が発生した可能性があります。
- 撮影画面でファイナライズ済みのディスクが入っています(69ページ)。

(バッテリー残量に関する警告)

遅い点滅

- バッテリー残量が少なくなっています。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約20分程でも警告表示が点滅することがあります。

(温度の上昇関連の警告)

遅い点滅

- 本機の温度が上昇しています。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置してください。

速い点滅*

- 本機の温度が著しく上昇しています。
  電源を切り、涼しい場所でしばらく放置してください。

(“メモリースティック PRO デュオ”関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっています。本機で使えるメモリースティックについては、3ページをご覧ください。
- “メモリースティック PRO デュオ”が入っていません(28ページ)。

速い点滅*

- 撮影に必要な空き容量がありません。不要な画像を削除するか(46ページ)、画像をダビング/コピーしてから(49、57、91ページ)、“メモリースティック PRO デュオ”を初期化してください(67ページ)。
- 管理ファイルが壊れています(70ページ)。

(“メモリースティック PRO デュオ”初期化関連の警告)*

- “メモリースティック PRO デュオ”が壊れています。
- “メモリースティック PRO デュオ”が正しく初期化されていません(67、111ページ)。

(非対応“メモリースティック PRO デュオ”関連の警告)*

- 本機では使えない“メモリースティック PRO デュオ”が入っています(3、111ページ)。

(“メモリースティック PRO デュオ”誤消去防止に関する警告)*

- 他機でアクセスコントロールをかけた“メモリースティック PRO デュオ”が使われています。

(手ブレ警告)

- 手ブレが起こりやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影してください。ただし、手ブレマークは消えません。

(静止画記録関連の警告)*

- 静止画記録の処理に時間がかかっているため、一時的に記録できません。撮影ができる状態になるまでしばらくお待ちください。

* 警告表示・お知らせメッセージが出るときに、「操作音」が鳴ります(81ページ)。

次のページへつづく

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

■ メディア

内蔵メモリーがフォーマットエラーです

- 本機の内蔵メモリーが、出荷時と異なるフォーマットになっています。内蔵メモリーを初期化する(67ページ)と使えることがあります。その場合データはすべて削除されます。

⏏ ディスクに記録できません

- ディスクに異常があり、記録できません。

再生できません

- 本機に対応していないディスクは再生できません。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像は再生できません。

⏏ ファイナライズ済みディスクです 追加記録するにはファイナライズ解除してください

- ファイナライズ済みのDVD-RW(VIDEOモード)が使われています。ファイナライズ解除してください(69ページ)。

⏏ ディスクが認識できません　取り出してください

- 本機に対応していないディスクが入っています。またはディスクに傷があるため、認識できません。

⏏ フォーマットエラーのディスクです

- 本機と異なるフォーマットのディスクが入っています。DVD-RW/DVD+RWは初期化をすれば使える場合もあります(67ページ)。

メモリースティックを入れなおしてください

- "メモリースティック PRO デュオ"を2、3回入れ直してください。それでも表示されるときは"メモリースティック PRO デュオ"が壊れている可能性があるので交換してください。

このメモリースティックはフォーマットが違います

- "メモリースティック PRO デュオ"のフォーマットを確認し、必要であれば本機で初期化してください(67、111ページ)。

メモリースティックのフォルダがいっぱいです

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- 初期化するか(67ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去してください。

このメモリースティックは動画を記録・再生できない可能性があります

- 本機での使用をおすすめしている"メモリースティック"をお使いください(3ページ)。

このメモリースティックは正常に記録・再生できない可能性があります

- "メモリースティック PRO デュオ"の機能に何らかの異常が認められました。もう一度"メモリースティック PRO デュオ"を入れ直してください。

書き込み中にメモリースティックが抜かれました　データが壊れた可能性があります

- "メモリースティック PRO デュオ"をもう一度入れて、画面の指示に従ってください。

管理ファイルがありません　新規作成しますか？

- 画像管理用ファイルが破損しています。[はい]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。その場合"メモリースティック PRO デュオ"にある過去に撮影した画像が、本機で再生できなくなります（画像ファイルは壊れません）。新規作成後[管理ファイル修復]（70ページ）を実行すると、過去に撮影した画像が再生できるようになる場合があります。それでも再生できない場合、付属のソフトウェアを使用してパソコンに画像ファイルをコピーしてください。

管理ファイルに不整合が見つかりました　動画を記録・再生できません　修復しますか？

- 管理ファイルが破損しています。[はい]をタッチして修復してください。

■ PictBridge対応プリンター

PictBridge対応プリンターと接続されていません

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つないでください。

プリントできません　プリンターを確認してください

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つないでください。

■ その他

これ以上選択できません

- プレイリストには内蔵メモリーや"メモリースティック PRO デュオ"では99個、ディスクでは999個までしか動画を追加できません（53ページ）。
- 次のときは1度に100個までしか画像を選択できません。
  – 画像の削除
  – 動画ダビング
  – 静止画コピー
  – プレイリスト編集
  – 静止画の印刷

このデータはプロテクトされています

- 他機でプロテクト（誤消去防止）された画像を削除しようとしています。プロテクトをかけた機器で解除してください。

このチャプターは分割できません*

- 極端に短い動画は分割できません。

データを修復できませんでした

- データ書き込みに失敗したため修復を試みましたが、データが復活しませんでした。メデイアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

しばらくお待ちください

- ディスク取り出し処理に時間がかかる場合に表示されます。振動を与えないようにして、電源を入れたまましばらく（約10分）放置してください。

* 本機では、START/STOPボタンを押して記録を開始してから終了するまでの画像の区切りのことをチャプターと言います。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
付属のACアダプターは、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米	主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

世界時刻表

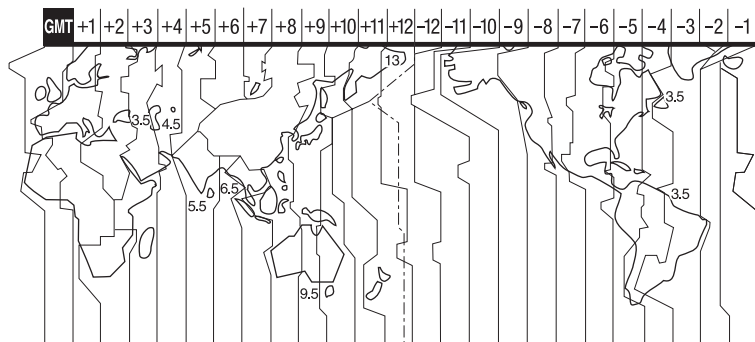
再生画像を見るには

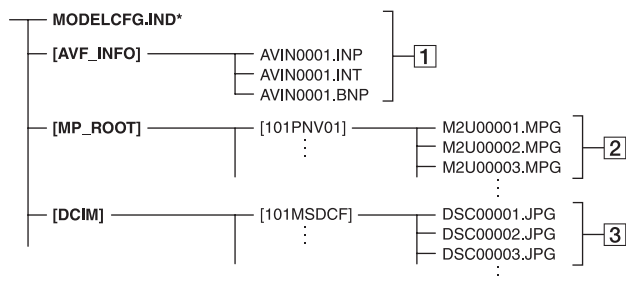
日本と同じカラーテレビ方式（NTSC、下記参照）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

現地の時間に合わせるには

- 海外で使うときは、（ホーム）→（設定）→[時計設定]の[エリア設定]と[サマータイム]を設定してください（21ページ）。

内蔵メモリー/“メモリースティック PRO デュオ”のファイル/フォルダ構成

内蔵メモリー/“メモリースティック PRO デュオ”のファイル/フォルダ構成は次のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。
パソコンとつないで撮影した動画や静止画を楽しむには、付属のCD-ROMに収録の「PMB ガイド」をご覧になり、付属のソフトウェアを使用してください。

* 内蔵メモリーのみ

1 **画像管理用ファイル**
削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。
隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 **動画ファイル（MPEG2 ファイル）**
拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。
ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9,999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。
フォルダ名は、「101PNV01」→「102PNV01」のように繰り上がります。

3 **静止画ファイル（JPEG ファイル）**
拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9,999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。
フォルダ名は、「101MSDCF」→「102MSDCF」のように繰り上がります。

- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、パソコンからアクセス可能になります（93ページ）。
- パソコンから本機のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- パソコンから本機のメディアのデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、46ページの手順で行ってください。パソコンから本機のメディアの画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機に入っているメディアを初期化しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンから本機に入っている“メモリースティック PRO デュオ”にファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。

使用上のご注意とお手入れ

ディスクについて

本機で使用できるディスクの種類について詳しくは、10ページをご覧ください。

ディスク使用時のご注意

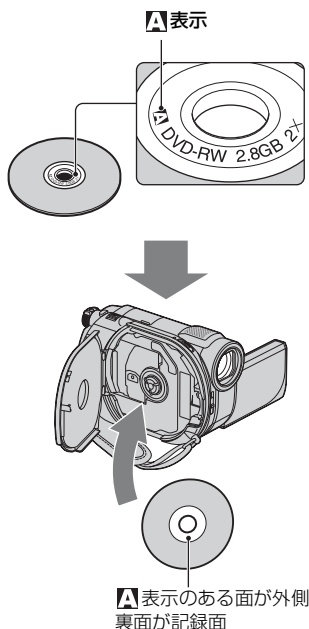
- ディスクは記録/再生面（片面ディスクの場合は印刷されていない面）に手を触れないように持ってください。

- 撮影の前にディスクの汚れ、指紋などを柔らかい布などで拭き取ってください。ディスクの状態によっては正常な記録/再生ができない場合があります。
- ディスクを装着する際は、カチッという音がするまで確実に取り付けてください。本機の液晶画面に[C：13：□□]が表示された場合は、ディスクカバーを開け、もう一度ディスクを装着し直してください。
- ディスクには、ラベルなどの粘着性のあるものを貼らないでください。ディスクのバランスが崩れると回転ムラが生じ、故障の原因となることがあります。

両面ディスクについて

両面ディスクは、表面と裏面の両方に記録できます。

■ A面に記録する場合

ディスク中心部にA表示のある面を外側にして本機に「カチッ」というまで押し込みます。

- 両面ディスクを使用する場合は、特に指紋がつかないようにご注意ください。
- 本機に両面ディスクを取り付けたまま、記録/再生面を切り換えることはできません。片面の記録/再生が終わったら、1度ディスクを取り出し、裏返しにして再び取り付けてください。
- 下記の操作は両面ディスクのそれぞれの面に対して行ってください。
  – ファイナライズ（62ページ）
  – 初期化（67ページ）
  – ファイナライズ解除（69ページ）

お手入れと保管

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。

- 柔らかい布などでディスクの中心から外側へ向かって軽く拭きます。汚れのひどいときは、水で少し湿らせたやわらかい布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭きとってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

- 直射日光が当たるなど温度の高い場所や、湿度の高い場所には置かないでください。
- 持ち運びや保管の際は付属の収納ケースに入れてください。
- 片面ディスクに文字などを記入する場合は、印刷されている面に記入してください。ボールペンなどの硬いものは避け、油性フェルトペンで記入し、インクが乾くまで放置してください。また、加熱による乾燥は避けてください。両面ディスクには記入できません。

8cm DVD+RW/DVD+R DL再生に関してのご注意

一部のDVDプレーヤー/レコーダー/パソコンなどでは、8cm DVD+RW/DVD+R DLを再生できない可能性があります。
DVDプレーヤーを含めたソニー製各DVD関連商品での再生可否については、「Sony DVD Guide」の「再生対応表」をご覧ください。
http://www.sony.jp/products/Consumer/dvdguide/

上記をご覧いただき、8cm DVD+RW/DVD+R DL の再生に対応していない機種をお使いのお客様は、本機での撮影の際に、8cm DVD-R/DVD-RWをご使用ください。

ご注意

- 8cm DVD+RW/DVD+R DLが再生可能な機器の場合も、ディスクの状態やピックアップの状態によっては、再生できない場合があります。(08年1月時点)

"メモリースティック"について

"メモリースティック"("Memory Stick")は小さくて軽い大容量のIC記録メディアです。
本機は、標準の"メモリースティック"の約半分の大きさの"メモリースティック デュオ"のみ使えます。ただし、すべての"メモリースティック デュオ"の動作を保証するものではありません。

"メモリースティック"の種類	記録/再生
メモリースティック デュオ (マジックゲート対応)	—
メモリースティック PRO デュオ	○
メモリースティック PRO-HG デュオ	○*

* 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、"メモリースティック PRO デュオ"と同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。

- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応していません。"マジックゲート"とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
- 本機は"メモリースティック マイクロ"("M2")に対応しています。"M2"は"メモリースティック マイクロ"の略称です。
- コンピュータ(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)した"メモリースティック PRO デュオ"は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの"メモリースティック PRO デュオ"と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
  – 画像ファイルを読み込み中や、"メモリースティック PRO デュオ"にデータを書き込み

その他

次のページへつづく→

中（アクセスランプが点灯中および点滅中）に、"メモリースティック PRO デュオ"を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
– 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、コンピュータのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- "メモリースティック PRO デュオ"本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、"メモリースティック PRO デュオ"に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。
- メモリースティック デュオ スロットには、"メモリースティック PRO デュオ"以外は入れないでください。故障の原因となります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  – 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  – 直射日光のあたる場所
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリースティック デュオ アダプターの使用について

- "メモリースティック PRO デュオ"を"メモリースティック"対応機器でお使いの場合は、必ず"メモリースティック PRO デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- "メモリースティック PRO デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。また、逆向きで無理に入れると、メモリースティック デュオ スロットが破損し故障の原因となります。
- メモリースティック デュオ アダプターに"メモリースティック PRO デュオ"が装着されない状態で、"メモリースティック"対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■ "メモリースティック PRO デュオ"についてのご注意

- 本機で動作確認されている"メモリースティック PRO デュオ"および"メモリースティック PRO-HG デュオ"は8GBまでです。

■ "メモリースティック マイクロ"使用上のご注意

- "メモリースティック マイクロ"を本機でお使いの場合は、必ず"メモリースティック マイクロ"をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入すると、"メモリースティック マイクロ"が取り出せなくなる可能性があります。
- "メモリースティック マイクロ"は、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用した"メモリースティック PRO デュオ"が本機で使えないときは、67ページの手順にしたがい本機で初期化をしてください。初期化すると"メモリースティック PRO デュオ"に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  – コンピュータで加工した画像データ
  – 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は"インフォリチウム"バッテリー(Hシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。"インフォリチウム"バッテリーHシリーズには InfoLITHIUM H マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

"インフォリチウム"バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、CHG(充電)ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- 充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜き、バッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける
  - 高容量バッテリー「NP-FH70/NP-FH100」(別売り)を使う
- 液晶パネルの使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-FH70/NP-FH100」(別売り)のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影や再生中は、こまめに電源を切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約20分程度でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、(ホーム)→ (設定)→[一般設定]→[自動電源オフ]→[なし]に設定し、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(83ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

次のページへつづく→

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近くや、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長時間使用しないときは

- 本機の性能を維持するために定期的に電源を3分間入れ、撮影および再生を行ってください。
- 本機からディスクを取り出しておいてください。
- バッテリーは使い切ってから保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるピックアップレンズやディスクに水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を切って、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立の後
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でお使いになると、画像が尾を引いて見えることがありますが、異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

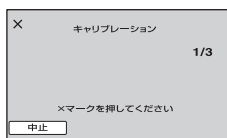
別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶パネルにかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

① 本機の電源を入れる。

② (ホーム)→ (設定)→[一般設定]→[キャリブレーション]をタッチする。

③ “メモリースティック PRO デュオ”の角のような先の細いものを使って、画面に表示される×マークを3回タッチする。
解除するには[中止]をタッチする。
×マークの位置は変わります。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

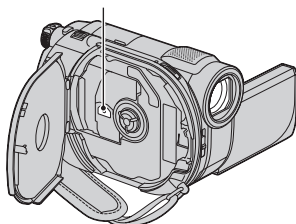
ご注意

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。
- 液晶画面を反転させているときや、外側に向けて本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきしてください。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下は避けてください。
  – シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類
  – 上記が手に付いたまま本機を扱う
  – ゴムやビニール製品との長時間接触

ピックアップレンズについて

- 本機のピックアップレンズ(ディスクカバーの内側)に触れないでください。また、ほこりがつかないように、ディスクを出し入れするとき以外はディスクカバーを閉じておいてください。
- ピックアップレンズが汚れて本機が動作しなくなったときは、カメラ用のブロワーブラシなどを使ってクリーニングしてください。ピックアップレンズに直接触れてのクリーニングはしないでください。故障の原因となります。

カメラレンズのお手入れと保管について

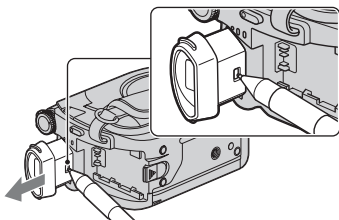
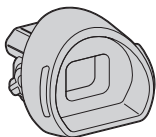
- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

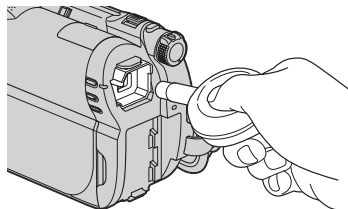
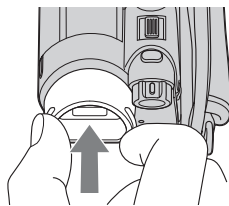
ファインダーのお手入れについて

ファインダーにゴミなどが入った場合は、次の手順で取り除いてください。

① ファインダーを引き出す。

② ファインダー下のツメをボールペンのような先の細いもので押しながら、ファインダーレンズブロックをはずす。

その他

③ ファインダーレンズブロックについているゴミをカメラレンズ用のブロワーブラシなどで取り除く。

④ ファインダーを押して元の位置に戻す。

⑤ 本体のファインダーレンズブロック取り付け部についているゴミをカメラレンズ用のブロワーブラシなどで取り除く。

⑥ ファインダーレンズブロックを「カチッ」と音がするまで押して、ファインダーに取り付ける。

ご注意

- ファインダーレンズブロックは精密部品のため、これ以上分解しないでください。
- ファインダーレンズブロックののぞき窓部やレンズ部には触れないでください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し、3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF（CHG）」にして24時間以上放置する。

“メモリースティック PRO デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック PRO デュオ”内のデータは完全に消去されないことがあります。“メモリースティック PRO デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また“メモリースティック PRO デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック PRO デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

映像圧縮方式
MPEG2/JPEG(静止画)

音声圧縮方式
Dolby Digital2/5.1ch
ドルビーデジタル5.1クリエーター搭載

映像信号
NTSCカラー、EIA標準方式

内蔵メモリー
8GB
容量は、1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。また管理用ファイルなどを含むため、実際使用できる容量は若干減少する場合があります。

使用可能ディスク
8cmのDVD-RW/DVD+RW/DVD-R/DVD+R DL

動画記録方式
内蔵メモリー:MPEG2-PS

ディスク:
DVD-RW:
DVD-VIDEO(VIDEOモード)
DVD-Video Recording(VRモード)
DVD+RW: DVD+RW Video
DVD-R/DVD+R DL: DVD-VIDEO

"メモリースティック PRO デュオ":
MPEG2-PS

静止画記録方式
Exif Ver.2.2*

ファインダー
電子ファインダー(カラー)

撮像素子
3.0mm(1/6型)CCD固体映像素子
総画素数:約107万画素
動画時有効画素数(16:9モード):
約67万画素
静止画時有効画素数(16:9モード):
約75万画素
静止画時有効画素数(4:3モード):
約100万画素

ズームレンズ

カール ツァイス　バリオテッサー
25倍(光学)
50倍、2 000倍(デジタル)
フィルター径30mm
F1.8〜3.2
f=2.5〜62.5mm
35mmカメラ換算では
動画撮影時:
41〜1 189mm(16:9モード)**
静止画撮影時:
36〜900mm(4:3モード)

色温度切り換え
[オート]、[ワンプッシュ]、
[屋内](3 200K)、[屋外](5 800K)

最低被写体照度
8 lx(ルクス)(オートスローシャッター 入、シャッタースピード 1/30秒)
0 lx(ルクス)(NightShot plus時)

* (社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。
** 広角画素読み出しによる実動作値

入/出力端子

A/V リモート端子
映像音声出力端子

USB端子
mini-B

液晶画面

画面サイズ
6.7cm(2.7型、アスペクト比16:9)

総ドット数
123 200ドット
横560×縦220

次のページへつづく➡

電源部、その他

電源電圧
バッテリー端子入力 DC6.8V/7.2V
DC端子入力 DC8.4V

消費電力
ファインダー使用時、明るさ標準:
2.5W
液晶画面使用時、明るさ標準:
2.9W

動作温度
0℃～+40℃

保存温度
−20℃～+60℃

外形寸法
55×89×130mm(幅×高さ×奥行き)(突起部含む)
55×89×130mm(幅×高さ×奥行き)(突起部含む、付属バッテリーNP-FH40装着状態)

本体質量
約400g(本体のみ)

撮影時総質量
約445g(バッテリーNP-FH40含む)

付属品
17ページをご覧ください。

ACアダプター　AC-L200/L200B

電源
AC100V−240V、50/60Hz

消費電力
18W

定格出力
DC8.4V*

動作温度
0℃～+40℃

保存温度
−20℃～+60℃

外形寸法
約48×29×81mm(最大突起部をのぞく)(幅×高さ×奥行き)

質量
約170g(本体のみ)

* その他の仕様については AC アダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-FH40

最大電圧
DC8.4V

公称電圧
DC7.2V

容量
4.9Wh(680mAh)

使用電池
Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

保証書と
アフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→ **2**ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。

また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクやハート型、八角形など特殊形状のディスクは使わない

高速回転により飛び出して怪我の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続･配置してください。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池や“メモリースティック”などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

次のページへつづく→

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	●バッテリーパックは指定されたACアダプター、バッテリーチャージャー以外で充電しない。 ●電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 ●電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 ●電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 ●電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。	禁止
警告	●電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 ●ボタン電池は充電しないでください。	禁止
注意	●電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。	指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

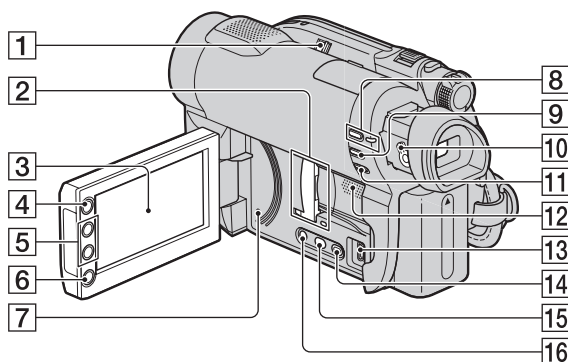
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

Li-ion

リチウムイオン電池

各部のなまえ

（　）内は参照ページです。

1 NIGHTSHOT PLUSスイッチ（36）

2 メモリースティック デュオ スロットとアクセスランプ（28）

内蔵メモリーと“メモリースティック PRO デュオ”のアクセスランプを兼ねています。

3 液晶画面/タッチパネル（14、23）

4 （ホーム）ボタン（15、73）

5 ズームボタン（35、42）

6 START/STOPボタン（30、34）

7 RESETボタン

日時を含めすべての設定が解除されます。

8 QUICK ONボタンとランプ（36）

9 EASYボタン（30）

10 視度調整つまみ（23）

11 （逆光補正）ボタン（36、71）

12 スピーカー

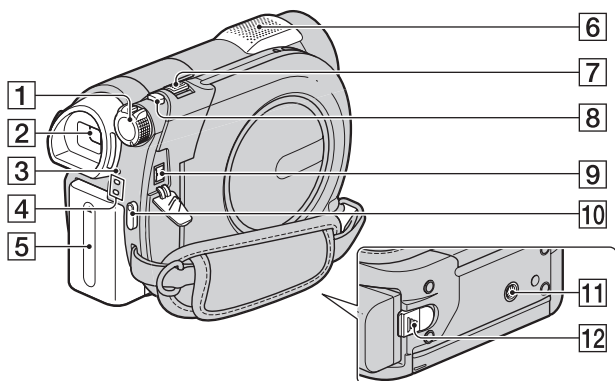
再生時の音声が聞けます。音量調節については、39ページをご覧ください。

13 （USB）端子

14 （画像再生）ボタン（38）

15 DUBBINGボタン（49）

16 DISP/BATT INFOボタン（19）

次のページへつづく➡

1 POWER（電源）スイッチ（21）

2 ファインダー（23）

3 CHG（充電）ランプ（18）

4 [動画アイコン]（動画）/[カメラアイコン]（静止画）ランプ（21）

5 バッテリーパック（18）

6 内蔵マイク（35）

外部マイクをつないだときは、その音声が優先されます。

7 ズームレバー（35、42）

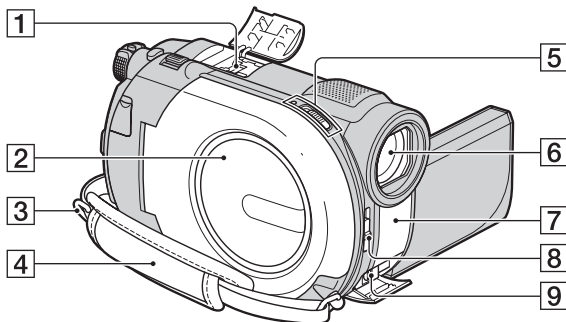
8 PHOTOボタン（30、34）

9 DC IN端子（18）

10 START/STOPボタン（30、34）

11 三脚用ネジ穴

三脚（別売り、ネジの長さが5.5mm以下）を三脚用ネジ穴に取り付けます。

12 BATT（バッテリー取りはずし）レバー（19）

1 アクティブインターフェースシュー

Active Interface Shoe

専用マイクやフラッシュなどを使うときに、本機から電源供給し、本機のPOWERスイッチに連動して接続機器の電源の入/切ができます。お使いになるアクセサリーの取扱説明書をあわせてご覧ください。

接続機器がはずれにくい構造になっています。取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、ネジを確実に締め付けてください。取りはずすときは、ネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。

- フラッシュ（別売り）を付けたまま撮影するときは、充電音が録音されないように、フラッシュの電源を切ってください。
- 外部マイクをつなぐと、その音声が内蔵マイクよりも優先されます（31ページ）。

2 ディスクカバー（26）

3 ショルダーベルト取り付け部

ショルダーベルト（別売り）を取り付けます。

4 グリップベルト（24）

5 ディスクカバーOPENスイッチとACCESSランプ（26）

6 レンズ（カールツァイスレンズ搭載）（5）

7 赤外線発光部/リモコン受光部

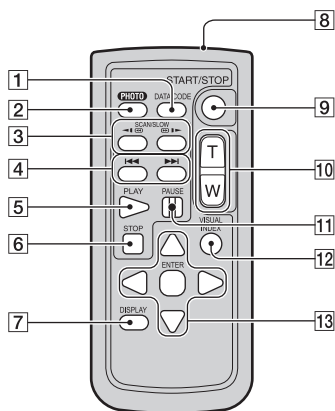
リモコン（126ページ）は、リモコン受光部に向けて操作します。

8 LENS COVERスイッチ（23）

9 A/V リモート端子（43、57）

A/V機器や別売りのアクセサリーを接続します。

次のページへつづく➡

ワイヤレスリモコン

1 DATA CODEボタン（79）

再生中に押すと、日付時刻データ/カメラデータを表示します。

2 PHOTOボタン（30、34）

押したときの画像が静止画として記録されます。

3 SCAN/SLOWボタン（31、39）

4 ⏮ ⏭（前の画像/次の画像）ボタン（31、39）

5 PLAYボタン（31、39）

6 STOPボタン（31、39）

7 DISPLAYボタン（19）

8 リモコン発光部

9 START/STOPボタン（30、34）

10 ズームボタン（35、42）

11 PAUSEボタン（31、39）

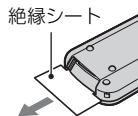
12 VISUAL INDEXボタン（31、39）

再生中に押すと、ビジュアルインデックス画面を表示します。

13 ◀ / ▶ / ▲ / ▼ / ENTERボタン

ビジュアルインデックス/フェイスインデックス/フィルムロールインデックス/プレイリスト画面で、いずれかのボタンを押すと、本機の画面にオレンジ色の枠が表示されます。◀ / ▶ / ▲ / ▼で画面上の希望のボタンまたは項目を選び、ENTERボタンを押す。

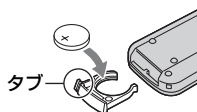
ご注意

- 絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

- 本機前面のリモコン受光部に向けて操作してください（125ページ）。
- 一定時間リモコンからの操作がないと、オレンジ色の枠は消えます。再び ◀ / ▶ / ▲ / ▼ またはENTERボタンのいずれかを押すと、最後に表示されていた位置に枠が表示されます。
- ◀ / ▶ / ▲ / ▼ で操作できないボタンもあります。

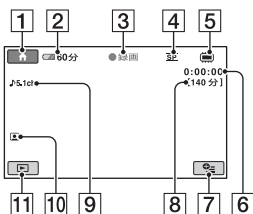
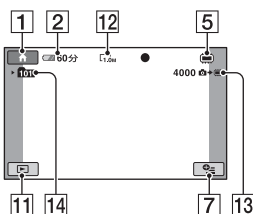
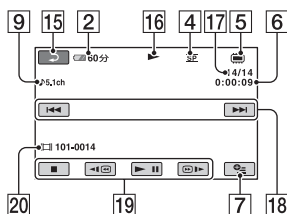
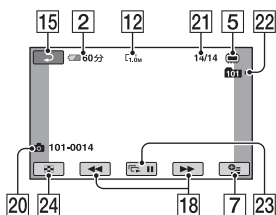
リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。

② ＋面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示

動画を撮影中

静止画を撮影中

動画を再生中

静止画を再生中

1 ホームボタン(15、73)

2 バッテリー残量の目安(19)

3 撮影状態([スタンバイ]/[●録画])

4 録画モード(HQ/SP/LP)(75)

5 メディアの種類(26)

6 カウンター(時:分:秒)

7 オプションボタン(16、84)

8 撮影可能時間

9 オーディオモード(35、75)

10 フェイスインデックス設定(77)

11 画像再生ボタン(31、38)

12 画像サイズ(77)

13 撮影可能枚数(77、78)

14 記録フォルダ

[静止画メディア設定]が[メモリースティック]のとき

15 戻るボタン

16 再生表示

17 再生中の動画の番号/記録している動画の数

[動画メディア設定]が[内蔵メモリー]または[メモリースティック]のとき

18 前の画像/次の画像ボタン(31、39)

19 動画操作ボタン(31、39)

20 データファイル名/シーン番号

21 再生中の静止画の番号/記録している静止画の数

22 再生フォルダ

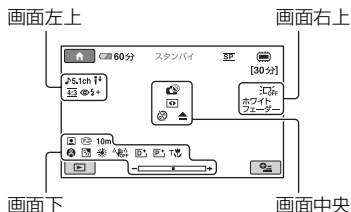
[静止画メディア設定]が[メモリースティック]のとき

23 スライドショーボタン(42)

24 ビジュアルインデックス表示ボタン(31、38)

次のページへつづく➡

液晶画面とファインダーの表示

撮影/再生中や、設定を変更したときに次の表示が出ます。

画面左上

表示	意味
♪5.1ch ♪2ch	オーディオモード(75)
	マイク基準レベル低(90)
4:3	ワイド切換(75)
	フラッシュ(78)
	セルフタイマー(90)
	内蔵ズームマイク(90)

画面右上

表示	意味
	液晶バックライト切(23)
ホワイト フェーダー ブラック フェーダー	フェーダー (89)

画面中央

表示	意味
	NightShot plus(36)
	Color Slow Shutter (89)
S	Super Nightshot plus (89)
	警告(104)
	PictBridge接続中 (59)

画面下

表示	意味
	フェイスインデックス (77)
	手動フォーカス(86)
	シーンセレクション(87)
	逆光補正(36)
	ホワイトバランス(88)
	手ブレ補正切(76)
	デジタルエフェクト(89)
	ピクチャーエフェクト (89)
T	テレマクロ(86)
	フレキシブルスポット測光(87)/カメラ明るさ (87)

ちょっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影時の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが、自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に日付時刻データ/カメラデータとして確認できます(79ページ)。撮影時の日付時刻は他機などで表示させることができます([プレーヤ用日付記録] 76ページ)。

用語集

■ 5.1chサラウンド音声(5.1チャンネル サラウンド音声)
フロント側(左/右/センター)、リア側(左/右)の5chと、120Hz以下の低域を専門とするサブウーファー0.1chを加えた6つのスピーカーで音を再生します。

■ JPEG(ジェイペグ)
Joint Photographic Experts Groupの略で、静止画データの圧縮(データ容量を小さくする)方法のことです。本機では静止画をJPEG形式で記録します。

■ MPEG(エムペグ)
Moving Picture Experts Groupの略で、映像(動画)および音声の符号化(画像圧縮の方法)に関する規格の総称です。MPEG1、MPEG2などの規格があります。本機では動画をMPEG2形式で記録します。

■ VBR
Variable Bit Rate(可変ビットレート)の略で、撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節させる記録方式です。動きの速い映像はメディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので記録時間は短くなります。

■ VIDEOモード
DVD-RWを使うときに選択する記録フォーマットの1つで、他のDVD機器との再生の互換性に優れていることが特徴です。

■ VRモード
DVD-RWを使うときに選択する記録フォーマットの1つで、本機での編集(画像の削除や、並び替え)ができるのが特徴です。ファイナライズをすると、VRモードに対応したDVD機器で再生できます。

■ サムネイル
多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。本機では、「ビジュアルインデックス」/「(フィルムロール)インデックス」/「(フェイス)インデックス」がサムネイルを使った表示方法です。

■ ドルビーデジタル
米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声の符号化(圧縮方法)形式です。

■ ドルビーデジタル5.1クリエーター
米ドルビーラボラトリーズ社が開発した音声圧縮技術です。高音質を維持したまま、音声を効率的に圧縮して、5.1chサラウンド音声が作成できます。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

次のページへつづく→

数字

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAMはソニー株式会社の登録商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK TM、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、メモリースティック マイクロ”、“マジックゲート”、MAGICGATE、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート　メモリースティック”、“MagicGateMemory Stick Duo”、“マジックゲート　メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- DVD-RW、DVD+RW、DVD-R、DVD+R DLロゴは商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ドルビーデジタル5.1クリエーターはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、DirectXはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。

ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名DCR-DVD810をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダにある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載（英文）が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/